

COMWARE

帳票作成/印刷支援ツール **COREPO**
レポート デザイナ
ユーザーズ ガイド

ご注意

- ・本製品の一部または全部を弊社の書面による許可なく複写・複製することは、その形態を問わず、禁じます。
- ・このソフトウェアは、コンピュータ1台につき1セット購入が原則になっております。
- ・本製品の内容・仕様は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- ・本製品に同封のソフトウェア使用許諾書に基づいて個人で使用する場合を除いて、弊社の承認なしにこのソフトウェアおよびマニュアルを使用することを固くお断りします。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本製品の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社まで連絡ください。

Microsoft、Windows、Visual Basic、Visual C++、Visual Studio、Visual Studio.Net は米国マイクロソフト社の登録商標です。
C++Builder、Delphi は米国ボーランド社の登録商標です。

帳票作成・印刷支援ツール

COREPO

Copyright(C)2003 有限会社コムウェア

All rights reserved.

本マニュアルの一部、または全部を、有限会社コムウェアの
書面による許可なく複製、送信、複写、転載、情報検索のための保存、
および他の言語に翻訳することを禁止します。

開発：有限会社コムウェア

〒373-0801 太田市台之郷町 601-2

TEL 0276 48 0811

FAX 0276 48 0815

目次

ごあいさつ	6
サポート	7
動作環境	8
特徴.....	9
第1章 イン트로ダクション	10
1.1 コレポ デザイナーのウインドウ	10
メニューバー	11
メニューバー・ファイル	12
メニューバー・編集	14
メニューバー・表示	15
メニューバー・アイテム	17
メニューバー・書式	18
メニューバー・ヘルプ	19
ツールバー	20
ツールバー・標準ツールバー	21
ツールバー・線ツールバー	21
ツールバー・ズームツールバー	22
ツールバー・フォントツールバー	22
ツールボックス.....	23
レポートデザインウインドウ	24
アイテムビューボックス	25
アイテムプロパティボックス	25
ステータスバー	25
1.2 アイテム	27
テキストアイテム	28
線(Line)アイテム	30
枠(Box)アイテム	31
円(Ellipse)アイテム	32
バーコードアイテム	33
イメージアイテム	35
第2章 コレポ デザイナーの使い方	36
2.1 レポートの作成	36

2.2 既存レポートを開く	37
2.3 レポートを保存する	38
2.4 プリンタ設定.....	39
システムのデフォルト・プリンタを使用する場合.....	39
プリンタを選んで使用する場合.....	39
2.5 ページ設定.....	40
用紙サイズ・プリンタがサポートする用紙を選ぶ場合.....	40
用紙サイズ・直接、長さで指定する場合	40
給紙方法.....	41
印刷の向き	41
長さの単位	41
余白.....	41
2.6 レポートのプロパティ設定.....	42
タイトル.....	42
コメント.....	42
パスワード	42
2.6 レポートにアイテムを挿入.....	43
2.7 アイテムの位置やサイズを変える	44
アイテムの位置を変える.....	44
アイテムのサイズを変える.....	44
2.8 アイテムの挿入・サイズ変更・移動で方向を限定する。	44
アイテム挿入時の場合	44
アイテムの移動の場合	45
線アイテムのサイズ変更の場合.....	45
2.9 アイテムの切り取り・コピー・貼り付け	45
切り取り.....	45
コピー	45
貼り付け.....	45
2.10 テキストの編集	46
文字列を入力する	46
フォントを設定する	46
文字の縦書き／横書きを設定する	47
文字の間隔・行の間隔を設定する	48
文字の寄せ・行の寄せを設定する	48
2.11 線や枠の設定.....	49
線の太さや模様を設定する.....	49
枠の角の丸みを設定する	51
枠内の塗りつぶしの設定をする.....	52
2.12 イメージの読み込み	53
2.13 イメージの角の丸み	54
2.14 バーコードアイテムの設定	54
バーコードの種類を選ぶ.....	54
バーコード化する数字又は、文字列を設定する	55
細いバー（ナローバー）と太いバー（ワイドバー）の比率を設定する	55
バーの色／背景の色を設定する.....	56

チェックデジットを設定する	56
バーコードの表示向きを設定する	57
ヒューマンリーダブル文字のフォント・サイズを設定する	57
CODE 1 2 8 の補足説明	58
(1) キャラクタ構成表	58
(2) コード記述例	60
EAN 1 2 8 (UCC / EAN 1 2 8) の補足説明	60
(1) コード記述例	60
CODE 3 9 フルアスキーの補足説明	61
(1) キャラクタ構成表	61
(2) コード記述例	62
2. 1 5 複数のアイテムを選択する	62
2. 1 6 グループ化	64
2. 1 7 位置合わせ	65
水平方向の位置合わせ	65
垂直方向の位置合わせ	65
2. 1 8 サイズ合わせ	66
幅を合わせる	66
高さを合わせる	66
2. 1 9 複製する	67
複製数	67
複製アイテムの間隔	67
アイテム名	67
名前の後ろにつける番号の桁数	68
2. 2 0 グループを解除する	69
2. 2 1 グリッド線	69
グリッドの間隔	70
グリッド線の表示	70
位置合わせ	70
2. 2 2 固定項目プロパティ	70
2. 2 3 オーバーレイ表示を使ってトレースする	71

ごあいさつ

この度は、弊社ソフト「COREPO」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

「COREPO」(以下「コレポ」と表記)は、帳票をデザインするために必要な様々な機能を取り揃えたもっともパワフルな帳票作成・印刷支援ツールです。

ご使用いただく前に、パッケージに添付されているソフトウェア使用許諾契約書、ユーザズガイド及び、ヘルプをお読みいただき、コレポの機能をご活用ください。

なお、製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社までご連絡いただければ幸いです。

有限会社コムウェア
コレポ開発担当者一同

サポート

本製品のサポートは基本的には E-Mail、Fax にて行わせていただいております。また、Web サーバーでの FAQ 掲示、ご意見・ご要望に対処したモジュールを自由にダウンロードできる環境もご用意しておりますので、まず、そちらをご参照ください。

有限会社 コムウェア

〒373-0801 群馬県太田市台之郷町601番地の2

E-Mail crp-support@com-ware.jp

コレポ サポート窓口 TEL 0276-46-2502

FAX 0276-48-0815

電話がつながりにくい場合が発生し、お客様にご迷惑をおかけしています。お手数でも、なるべく、電子メールで、お問合せくださいますようお願い申し上げます。

動作環境

コレポ デザイナをご使用いただくには、次の動作環境が必要です。

■日本語オペレーティングシステム

Microsoft Windows 95osr2/98se/Me/NT4.0sp3/2000/Xp

■コンピュータ本体

- Pentium166MHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- 100MB 以上の空き容量を持つハードディスク
- CD-ROM ドライブ
- 日本語オペレーティングシステムが推奨するメモリ容量

特 徴

マウスで手軽にプレ印刷に匹敵する精細な帳票をデザインできます。ツールボックスに装備されたアイテムは、

**ラベル (文字列)、線、四角形、円 (楕円)、
イメージ、バーコード**

これらをマウスで次々にレイアウトして目的の帳票に仕上げます。既存の帳票がある場合は、スキャナで取り込んで下敷き代わりに利用できます。会社ロゴや写真などをレイアウトすることも可能です。

アイテムの複製機能があり、同一オブジェクトを一度に複数生成することが出来ます。また、アイテムのグループ化機能があり、関連したアイテムを1つのグループとして扱うことが出来ます。

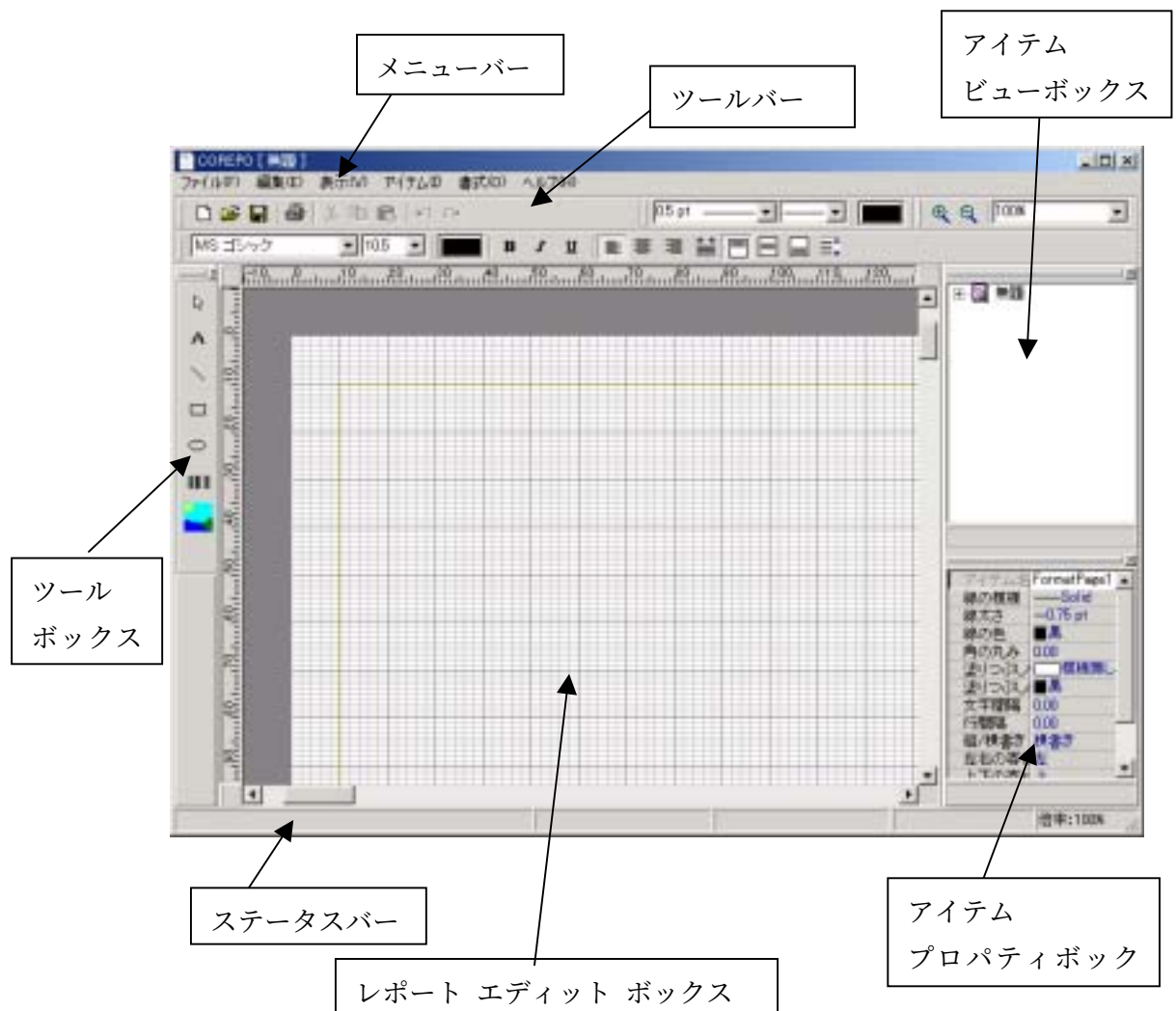
第1章

イントロダクション

この章は、コレポ デザイナーを紹介し、コレポ デザイナーおよび、本マニュアルの基本的な使い方に慣れていただくためのものです。

1.1 コレポ デザイナーのウィンドウ

コレポ デザイナーのウィンドウは、使いやすく設計してあります。



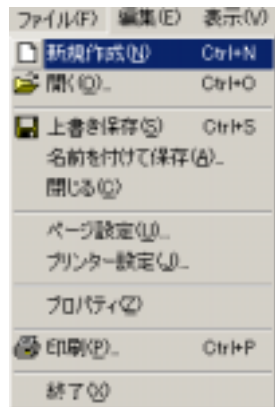
メニューバー



メニューバーには、レポートデザイナーのコマンドが集まっています。メニューバーからどれかを選ぶと、レポートを作ったり、印刷したり、保管するのに使うコマンドの「ドロップダウンメニュー」が現れます。

オプション	説 明
ファイル	レポートファイルを開いたり、閉じたり、保存したり、別のファイル名で保存したり、プリンタで印刷したり、レポートのページ設定をしたり、プリンタを選んだりするコマンドが入っています。
編集	レポートを色々な面で修正することができます。このメニューには、アイテムをコピーしたり、貼り付けたり、切り取ったり、削除したりするコマンド、アイテムが重なり合った場合の前面/背面へ移動させるコマンドや、アイテムの位置合わせのコマンド等が入っています。
表示	レポートデザイナーの各種ツールの表示/非表示コマンドと、編集レポートの拡大縮小、レイアウトページの選択コマンドが入っています。
アイテム	テキストアイテム・線アイテム・枠アイテム・円アイテム・バーコードアイテム・イメージアイテムを挿入するコマンドと複数選択したアイテムのグループ化／グループ化解除コマンド、選択したグループ名の変更コマンドが入っています。
書式	アイテムのフォントの設定、線の種類・太さ・色、塗りつぶしの模様・色、枠線の角の丸み設定のコマンドが入っています。
ヘルプ	ヘルプの起動と、レポートデザイナーのバージョン表示コマンドが入っています。

メニューバー・ファイル



オプション

説明

新規作成

新しいレポートを作成します。

開く

既存のレポートを開きます。

上書き保存

レポートを保存します。

名前を付けて保存

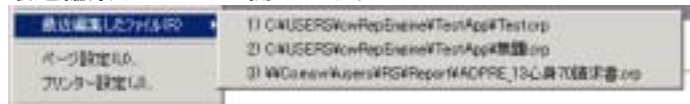
レポートファイルの名前を付けて保存します。

閉じる

現在編集中のレポートを閉じます。

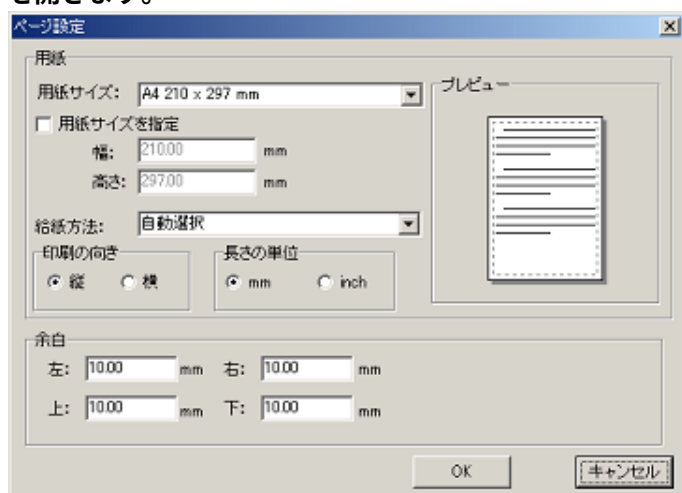
最近編集したファイル

最近編集したファイルを開きます。



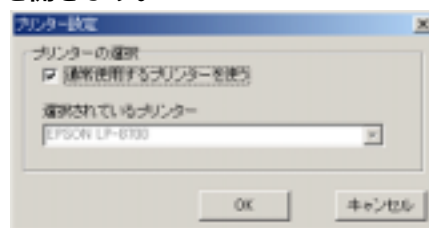
ページ設定

レポートのサイズ、向き、余白を指定するダイアログボックスを開きます。



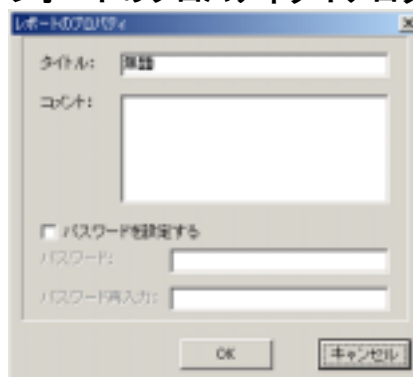
プリンタ設定

レポートを印刷するプリンタを指定するダイアログボックスを開きます。



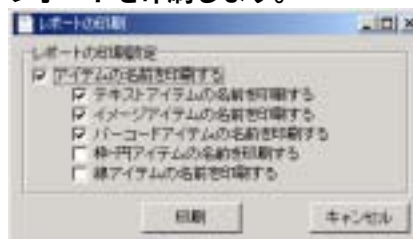
プロパティ

レポートのプロパティダイアログボックスを開きます。



印刷

レポートを印刷します。



終了

レポートデザイナを終了します。

メニューバー・編集

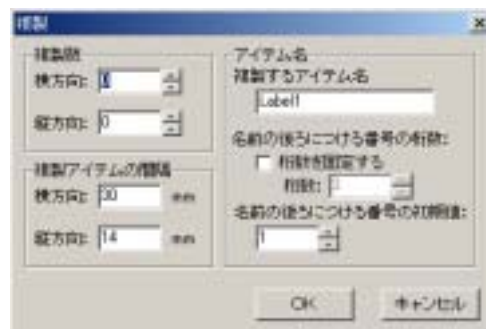


オプション

元に戻す
やり直し
切り取り
コピー
貼り付け
複製

説明

操作を元の状態に戻します。
元に戻した操作をもう一度やり直します。
選択したアイテムをクリップボードに切り取ります。
選択したアイテムをクリップボードにコピーします。
クリップボードにあるアイテムをレポートに貼り付けます。
選択したアイテムを複製するために、複製ダイアログボックスを開きます。



削除
全て選択
グリッドに合わせる

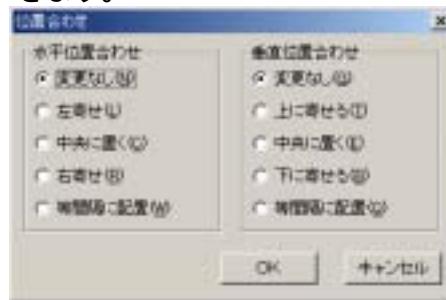
選択したアイテムを削除します。
レポート内の全てのアイテムを選択します。
アイテムの挿入や移動・サイズ変更時、グリッドに合うようにアイテムの位置を調整します。

前面に移動
背面に移動

選択したアイテムを前面に表示します。
選択したアイテムを背面に表示します。

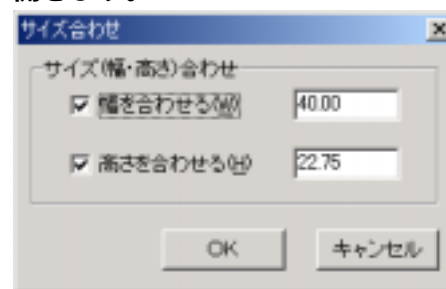
位置合わせ

選択したアイテムの位置合わせダイアログボックスを開きます。



サイズ合わせ

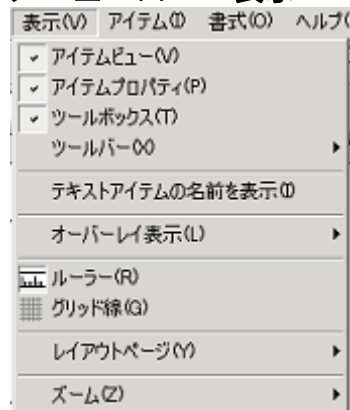
選択したアイテムのサイズ合わせダイアログボックスを開きます。



アイテムのロック

マウスによるアイテムの移動・サイズ変更を禁止します。

メニューバー・表示



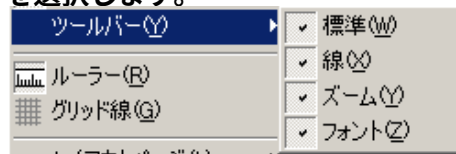
オプション

説明

アイテムビュー	アイテムの一覧をツリー構造で表示するウィンドウの表示/非表示を選択します。
アイテムプロパティ	アイテムのプロパティウィンドウの表示/非表示を選択します。
ツールボックス	ツールボックスの表示/非表示を選択します。

ツールバー

標準・線・ズーム・フォントツールバーの表示／非表示を選択します。



ルーラー

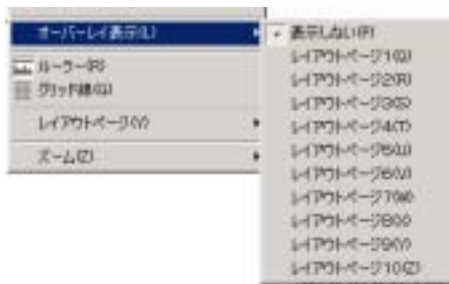
ルーラー（定規）の表示／非表示を選択します。

テキストアイテムの名前を表示

テキストアイテムの名前の表示／非表示を選択します。

オーバーレイ表示

オーバーレイ表示（重ね合わせ表示）するレイアウトページを選択します。



グリッド線

グリッド線の表示／非表示を選択します。

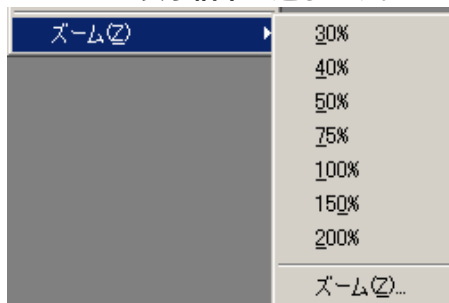
レイアウトページ

レイアウトページのページ替え（前・次ページ）を選びます。



ズーム

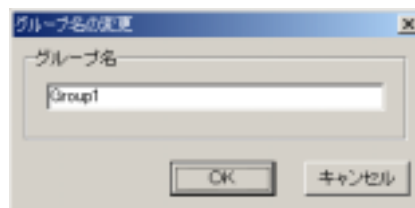
レポートの表示倍率を選びます。



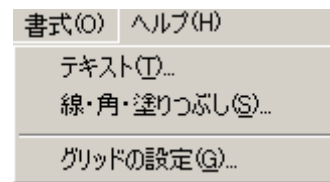
メニューバー・アイテム



オプション	説 明
テキスト	テキストアイテムを挿入します。
線(Line)	線(Line)アイテムを挿入します。
枠(Box)	枠(Box)アイテムを挿入します。
円(Ellipse)	円(Ellipse)アイテムを挿入します。
バーコード	バーコードアイテムを挿入します。
イメージ	イメージアイテムを挿入します。
グループ化	複数選択されたアイテムを 1 つのグループにします。
グループの解除	グループ化したアイテムをそれぞれ 1 つのアイテムに戻します。
グループ名の変更	選択されているグループの名前を変更するダイアログボックスを開きます。



ニューバー・書式

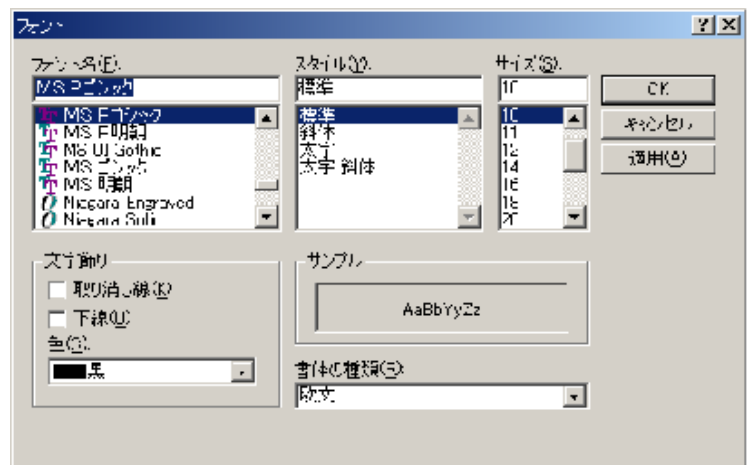


オプション

説明

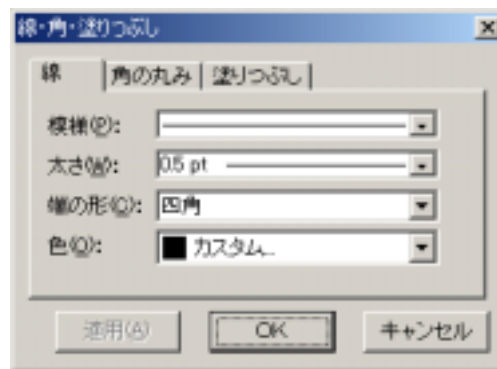
テキスト

テキストアイテムのフォント設定ダイアログボックスを開きます



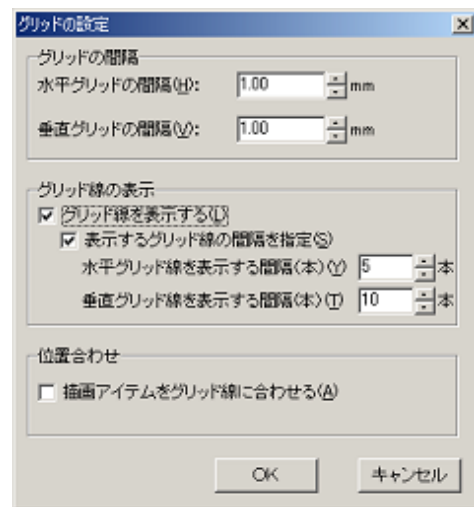
線・角・塗りつぶし

線・枠アイテムの線・枠等の体裁を整えるダイアログボックスを開きます。

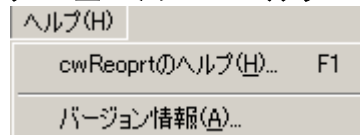


グリッドの設定

グリッドの設定ダイアログボックスを開きます。



メニューバー・ヘルプ



オプション

説 明

COREP0 デザイナーのヘルプ

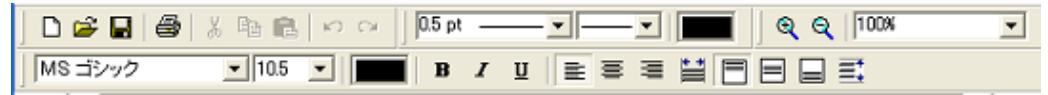
COREP0 デザイナーのヘルプを開きます。

バージョン情報

このデザイナーのプログラムバージョン情報のダイアログボックスを開きます。

ツールバー

ツールバーには、レポートデザイナのコマンドをすばやく実行できるボタンが集まっています。



オプションバー	説 明
標準ツールバー	 レポートを作ったり、印刷したり、保管するのに使うコマンドのボタンが配置されています。
線ツールバー	 アイテムの枠や線の太さ、種類や色を操作するボタンが配置されています。
ズームツールバー	 レポートの拡大・縮小表示するためのボタンが配置されています。
フォントツールバー	 フォントツールバーには、テキストのフォントや書式を設定するためのボタンが配置されています。

ツールバー・標準ツールバー



標準ツールバーには、レポートを作ったり、印刷したり、保管するのに使うコマンドのボタンが配置されています。また、アイテムの切り取り・コピー・貼り付けや、操作を元に戻したり、やり直したりするボタンも配置されています。

ボタン	説明
-----	----



新しいレポートを作成します。
既存のレポートファイルを開きます。
レポートを保存します。
レポートを印刷します。
選択されているアイテムをクリップボードに切り取ります。
選択されているアイテムをクリップボードに切り取ります。
クリップボードにあるアイテムをレポートに貼り付けます。

ツールバー・線ツールバー

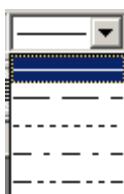


線ツールバーには、アイテムの枠や線の太さ、種類や色を操作するボタンが配置されています。

ボタン	説明
-----	----



コンボボックスから線の太さを選択します。

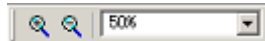


コンボボックスから線の種類を選択します。



色選択ダイアログボックスを開きます。

ツールバー・ズームツールバー



ズームツールバーには、レポートの拡大・縮小表示するためのボタンが配置されています。

ボタン

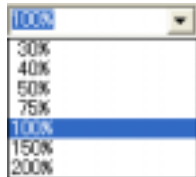
説 明



レポートを拡大表示します。



レポートを縮小表示します。



レポートの表示倍率を選びます。

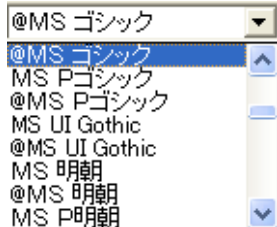
ツールバー・フォントツールバー



フォントツールバーには、テキストのフォントや書式を設定するためのボタンが配置されています。

ボタン

説 明



フォントを選びます。



フォントの大きさを選びます。



色選択ダイアログボックスを開きます。



フォントの字体を太字にします。



フォントの字体を斜体にします。



フォントに下線を引きます。



テキストを左寄せにします。



テキストを左右方向の中央に寄せます。



テキストを右寄せにします。



テキストを左右方向に均等に配置します。



テキスト行を上寄せにします。



テキスト行を上下方向の中央に寄せます。



テキスト行を下寄せにします。



テキスト行を上下方向に均等に配置します。

ツールボックス



アイテムを挿入したり、アイテムを選択したりするためのボタンが配置されています。

ボタン

説 名



マウスをアイテム選択モードにします。



テキストアイテムを挿入します。



線アイテムを挿入します。



枠アイテムを挿入します。



円アイテムを挿入します。

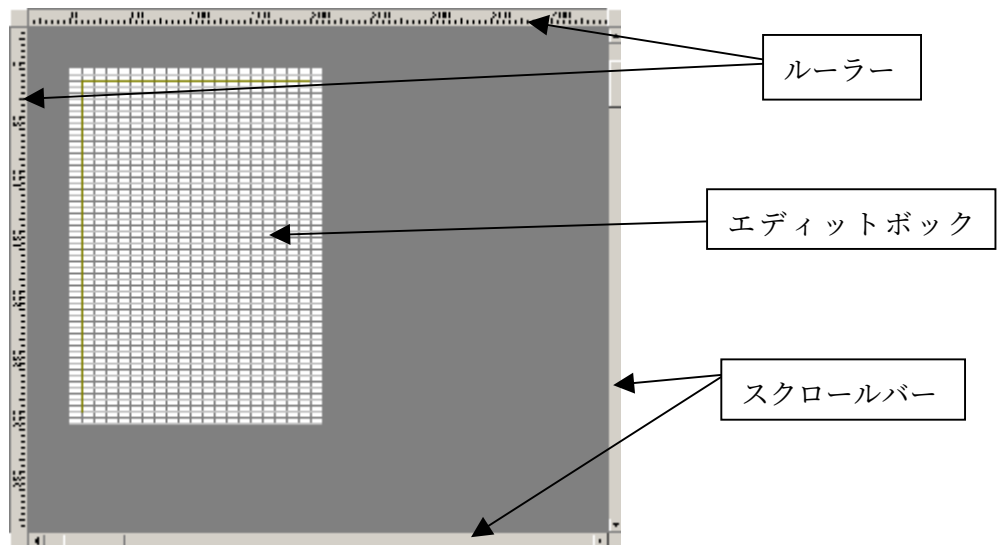


バーコードアイテムを挿入します。



イメージアイテムを挿入します。

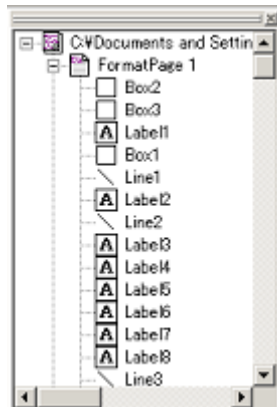
レポートデザインウィンドウ



レポートデザインウィンドウには、独自のメニューはありません。その代わり、コレポ・デザイナーのメニューが常に見えていて、レポートデザインウィンドウで使うことができます。

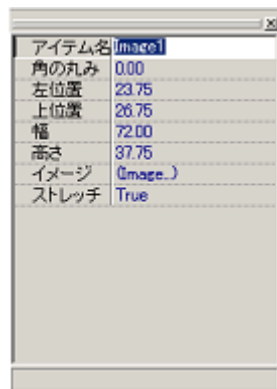
部位	説明
レポート・エディットボックス	レポート・エディットボックスは、実際にレポートを作成するところです。レポート・エディットボックス内のマス目は、グリッド線と呼ばれ、レポートに挿入（配置）するアイテムの位置決めの補助的役目を果たします。
ルーラー	ルーラ（定規）は、アイテムの位置やサイズを変える場合の目安になります。
スクロールバー	レポートデザインウィンドウの右端と下にあるスクロールバーで、レポートを好きな場所までスクロールしていくことができます。スクロールバーの矢印をマウスでクリックすると、矢印の方向に少しだけスクロールします。また、スクロールバーの矢印をマウスで押したままにすると連続してスクロールすることができます。スクロールバーをクリックすると、レポートデザインウィンドウの高さ、又は、幅の分だけスクロールすることができます。スクロールバーのボタンをドラッグして移動させると好きな場所まで、スクロールしていくことができます。

アイテムビューボックス



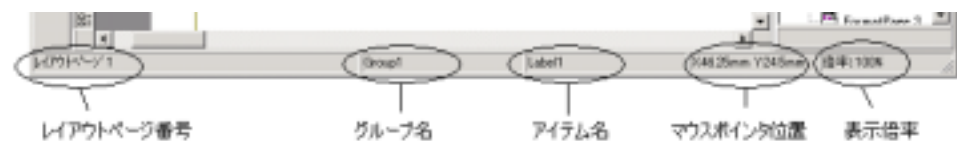
アイテムビューは、レポートに配置されたアイテムの一覧をツリー構造で示します。ビュー内の1つのノード（アイテム名）をマウスでクリックすることで、素早く、目的のアイテムを編集できます。

アイテムプロパティボックス



アイテムプロパティボックスは、選択されたアイテムのプロパティを示します。プロパティボックスには詳細なアイテムの情報が示され、細かな設定を可能とします。

ステータスバー



ステータスバーは、マウスポインタ位置に関し、必要な情報を表示します。

部 位	説 明
レイアウト ページ番号	編集対象のレイアウトページ番号を示します。
グループ名・ アイテム名	マウスポインタが、レポートのアイテム上にある場合、そのアイテムのグループ名、アイテム名を表示します。
マウス ポインタ位置	マウスポインタが、レポートのアイテム上にある場合、そのアイテムのグループ名、アイテム名を表示します。
倍率	レポートの現在の表示倍率を表示します。

1.2 アイテム

アイテムは、レポートに挿入され、印刷される最小単位です。コレポには以下のアイテムが用意されています。

アイテムの種類	説 明
テキスト	文字列を扱うためのものです。
線(Line)	直線を描画するためのものです。
枠(Box)	長方形を描画するためのものです。
円(Ellipse)	円(楕円)を描画するためのものです。
バーコード	バーコードを描画するためのものです。
イメージ	BITMAP、JPEG、MetaFile などを描画するためのものです。

テキストアイテム

テキストアイテムには以下のプロパティが用意されています。

プロパティ	説 明
アイテム名	テキストアイテムの識別名を示します。
グループ名	グループの識別名を示します。
線の模様	枠線の種類を示します。(実線・破線・点線・一点鎖線・二点鎖線)
線の太さ	枠線の太さを示します。(0.25 ポイント～6 ポイント)
線の色	枠線の色を示します。(フルカラー、但しパソコンの性能による)
枠	枠線の形状を示します(四角・円)
角の丸み	枠線の角の丸みを示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
塗りつぶし模様	枠線内(テキストの背景)の塗りつぶし方法を示します。
塗りつぶしの色	塗りつぶしに使う色を示します。(フルカラー、但しパソコンの性能による)
左位置	アイテムの左端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
上位置	アイテムの上端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
幅	アイテムの幅(水平向の大きさ)を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
高さ	アイテムの高さ(垂直方向の大きさ)を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
文字間隔	テキストの文字の間隔を示します(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
行間	テキストが複数行ある場合、テキストの行の間隔を示します(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
縦／横書き	テキストを縦書きにするか横書きにするかを示します。
左右の寄せ	テキストの枠内の左右方向の寄せを示します。(左寄せ・中央寄せ・右寄せ)
上下の寄せ	テキストの枠内の上下方向の寄せを示します。(上寄せ・中央寄せ・下寄せ)
フォント	テキストのフォント情報を示します。
フォント名	フォントの名前を示します。
サイズ	フォントの大きさを示します。(6～72 ポイント)

飾り	
太字	フォントの字体の体裁を示します。
斜体	字体が太字か否かを示します。
下線	字体が斜体か否かを示します。
テキスト	文字の下に下線を引くか否かを示します。
文字ピッチ	テキストの文字列を示します。
折り返し	文字ピッチを示します。(デフォルト・固定・可変) 表示(印刷)範囲からはみ出た部分を自動的に折り返して表示(印刷)するか否かを示します。
マルチライン	複数行表示(印刷)か、1行表示(印刷)かを示します。
固定項目	固定項目とするか否かを示します。
表示	表示(印字)するか否かを示します。

テキストアイテムのプロパティボックス

アイテムプロパティ	
アイテム名	Label1
グループ名	Group001
線の模様	—Solid
線太さ	—0.25 pt
線の色	■黒
枠	四角
角の丸み	0.00
塗りつぶし	□模様無し
塗りつぶし	■黒
左位置	20.00
上位置	25.00
幅	50.00
高さ	9.75
文字間隔	0.00
行間隔	0.00
縦/横書き	横書き
左右の寄せ	中央(左右)
上下の寄せ	中央(上下)
田フォント	(Font...)
テキスト	Label1..
文字ピッチ	デフォルト
折り返し	False
マルチライ	True
固定項目	False
表示	True

線(Line)アイテム

線アイテムには以下のプロパティが用意されています。

プロパティ	説 明
アイテム名	テキストアイテムの識別名を示します。
グループ名	グループの識別名を示します。
線の模様	線の種類を示します。(実線・破線・点線・一点鎖線・二点鎖線)
線の太さ	線の太さを示します。(0.25 ポイント～6 ポイント)
線の色	線の色を示します。(フルカラー、但しパソコンの性能による)
線の開始水平位置	線アイテムが描画される水平方向の始点位置を示します。 (1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
線の開始垂直位置	線アイテムが描画される垂直方向の始点位置を示します。 (1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
線の終了水平位置	線アイテムが描画される水平方向の終点位置を示します。 (1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
線の終了垂直位置	線アイテムが描画される垂直方向の終点位置を示します。 (1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
表示	表示（印字）するか否かを示します。

線アイテムのプロパティボックス

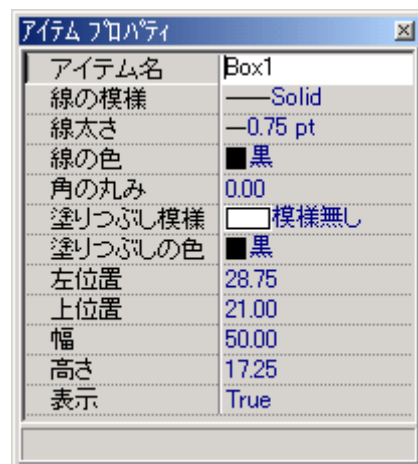


枠(Box)アイテム

枠アイテムには以下のプロパティが用意されています。

プロパティ	説 明
アイテム名	テキストアイテムの識別名を示します。
グループ名	グループの識別名を示します。
線の模様	枠線の種類を示します。(実線・破線・点線・一点鎖線・二点鎖線)
線の太さ	枠線の太さを示します。(0.25 ポイント～6 ポイント)
線の色	枠線の色を示します。(フルカラー、但しパソコンの性能による)
角の丸み	枠線の角の丸みを示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
塗りつぶし模様	枠線内(テキストの背景)の塗りつぶし方法を示します。
塗りつぶしの色	塗りつぶしに使う色を示します。(フルカラー、但しパソコンの性能による)
左位置	アイテムの左端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
上位置	アイテムの上端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
幅	アイテムの幅(水平向の大きさ)を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
高さ	アイテムの高さ(垂直方向の大きさ)を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
表示	表示(印字)するか否かを示します。

枠アイテムのプロパティボックス



円(Ellipse)アイテム

円アイテムには以下のプロパティが用意されています。

プロパティ	説 明
アイテム名	テキストアイテムの識別名を示します。
グループ名	グループの識別名を示します。
線の模様	枠線の種類を示します。(実線・破線・点線・一点鎖線・二点鎖線)
線の太さ	枠線の太さを示します。(0.25 ポイント～6 ポイント)
線の色	枠線の色を示します。(フルカラー、但しパソコンの性能による)
塗りつぶし模様	枠線内 (テキストの背景) の塗りつぶし方法を示します。
塗りつぶしの色	塗りつぶしに使う色を示します。(フルカラー、但しパソコンの性能による)
左位置	アイテムの左端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
上位置	アイテムの上端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
幅	アイテムの幅 (水平向の大きさ) を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
高さ	アイテムの高さ (垂直方向の大きさ) を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
表示	表示 (印字) するか否かを示します。

円アイテムのプロパティボックス



バーコードアイテムアイテム

バーコードアイテムには以下のプロパティが用意されています。

プロパティ	説 明
アイテム名	テキストアイテムの識別名を示します。
グループ名	グループの識別名を示します。
左位置	アイテムの左端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
上位置	アイテムの上端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
幅	アイテムの幅（水平方向の大きさ）を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
高さ	アイテムの高さ（垂直方向の大きさ）を示します。(1/100mm 又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
バーコード	バーコードの種類を示します。 (JAN13/EAN13, JAN8/EAN8, UPCA, UPCE, ITF, Matrix2of5, Code39 /フルアスキー, Code128, NW7, IATA, Industrial2of5, 郵便カスタマ)
コード	バーコード化する数字又は、文字列を示します。
バー比率	細いバーと太いバーの比率を指定します。(2.0～3.0)
バーの色	バーコードのバーの色を示します。(インクジェットプリンタ等のインクにじみを避けるためには、「色の作成」で明るさを調整してください。明るくすると、色にじみが少なくなります)
背景の色	バーコードの背景色を示します。(インクジェットプリンタ等のインクにじみを避けるためには、「色の作成」で明るさを調整してください。明るくすると、色にじみが少なくなります)
チェックデジット	チェックデジットを自動でバーコードに付加するか否かを示します。
回転	バーコードを回転して表示するか示します。(0°／90°／180°／270°)
文字フォント	バーコードの下に表示するヒューマンリーダブル文字のフォント名を指定します。

フォントサイズ バーコードの下に表示するヒューマンリーダブル文字の大きさを示します。0の場合、バーコードの下のヒューマンリーダブル文字は表示されません

固定項目 固定項目とするか否かを示します

表示 表示（印字）するか否かを示します。

バーコードアイテムのプロパティ

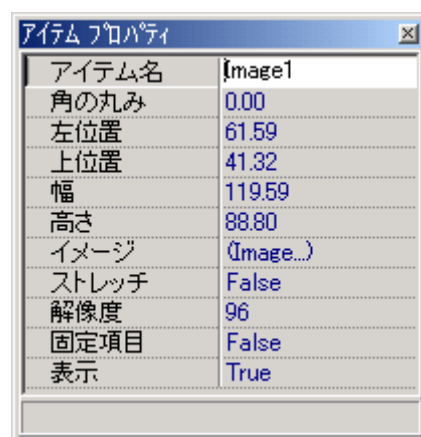
アイテム プロパティ	
アイテム名	Barcode1
左位置	117.21
上位置	38.89
幅	37.57
高さ	11.38
バーコード種別	Code39
コード	BARCODE1
バー比率	30
バーの色	■ 黒
背景の色	□ 白
チェックデジット	False
回転	0°
文字フォント名	
フォントサイズ	10
固定項目	False
表示	True

イメージアイテム

イメージアイテムには以下のプロパティが用意されています。

プロパティ	説 明
アイテム名	テキストアイテムの識別名を示します。
グループ名	グループの識別名を示します。
角の丸み	グラフィック枠の角の丸みを示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
左位置	アイテムの左端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
上位置	アイテムの上端の位置を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
幅	アイテムの幅（水平方向の大きさ）を示します。(1/100mm又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
高さ	アイテムの高さ（垂直方向の大きさ）を示します。(1/100mm 又は 1/1000 インチ単位・単位はページ設定にて指定)
イメージ	グラフィックをファイルより読み込みます。
ストレッチ	読み込んだグラフィックをイメージアイテムの範囲に完全に収まるように元の大きさを調整します。
解像度	ストレッチが False の場合有効で、イメージの解像度(DPI)を指定し、イメージの大きさを解像度(DPI)に合わせます。
固定項目	固定項目とするか否かを示します。
表示	表示（印字）するか否かを示します。(デフォルト・True)

イメージアイテムのプロパティ



第2章

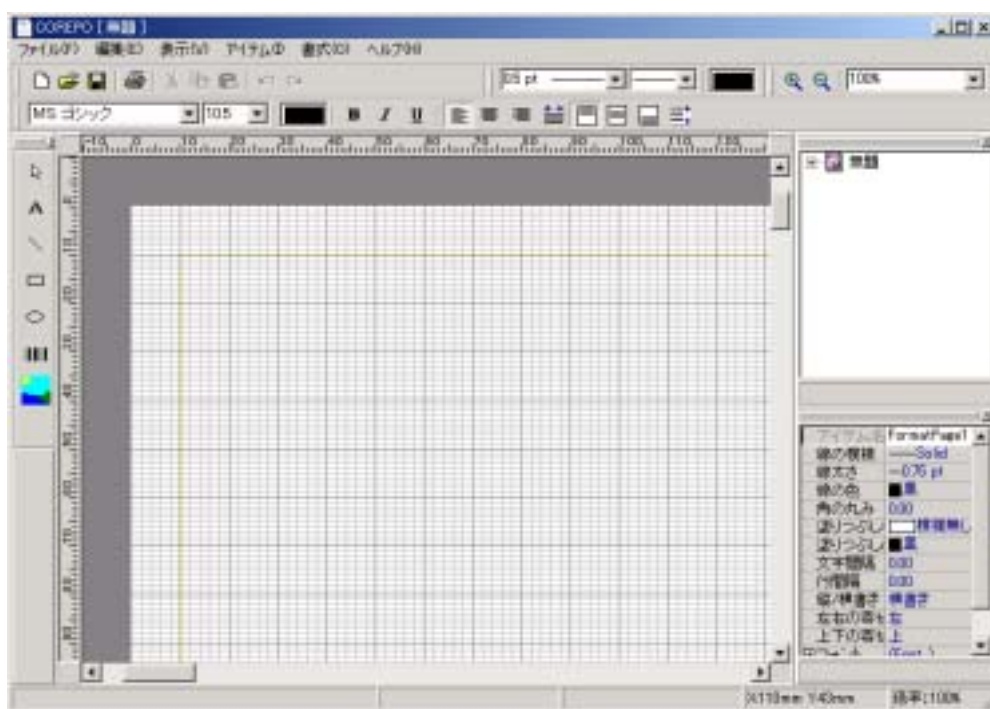
コレポ デザイナーの使い方

この章は、具体的な例を挙げてコレポ デザイナーの使い方を説明していきます。

2.1 レポートの作成

レポートを新規に作成するには、「メニューバー」「ファイル」「新規作成 (N)」を選ぶか、標準ツールバーのをマウスでクリックします。

レポートエディットボックスに白紙のレポートが表示されます。

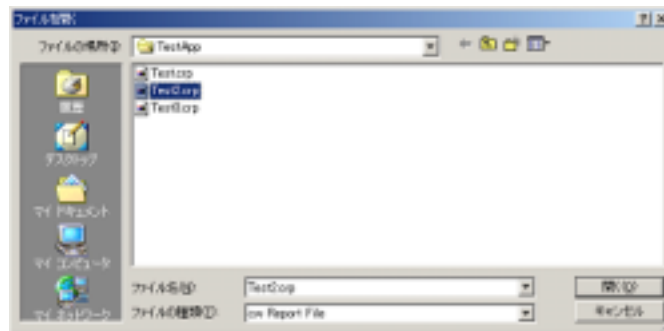


複数のレポートを同時に編集したい場合は、コレポ・デザイナを Windows の「スタート」「プログラム」から立ち上げてください。デザイナは SDI (シングル・ドキュメント・インターフェース) アプリケーションですが、クリップボードを使い、デザイナー間でのアイテムのコピーが可能です。また、同時に立ち上げることのできるデザイナの数、コンピュータ及び Windows の性能に依存します。

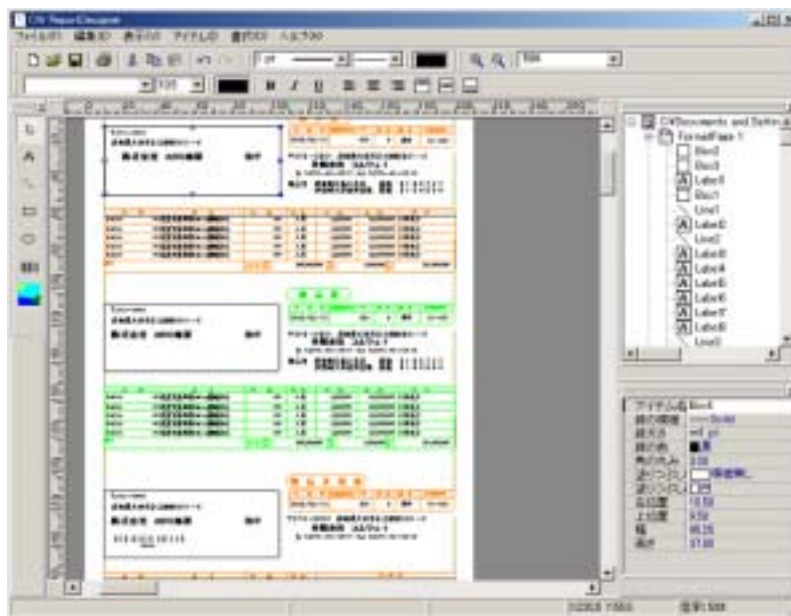
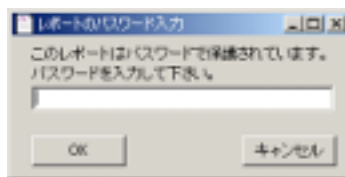
2.2 既存レポートを開く

既存のレポートを開くには、デザイナの「開く」ボタンをクリックします。

「メニューバー」「ファイル」「開く (O)」を選ぶか、標準ツールバーの  をマウスでクリックします。



「ファイルを開く」ダイアログが開きます。ファイル一覧から、開きたいレポートをマウスでクリックして、「OK」ボタンを押すと、以前保存したレポートが表示されます。なお、レポートがパスワードで保護されている場合、以前保存したレポートが表示される前に、パスワード入力ダイアログが開かれます。正しいパスワードを入力してください。



複数のレポートを同時に編集したい場合は、コレポ・デザイナを Windows の「スタート」「プログラム」から立ち上げてください。デザイナは SDI (シングル・ドキュメント・インターフェース) アプリケーションですが、クリップボードを使い、デザイナー間でのアイテムのコピーが可能です。また、同時に立ち上げることのできるデザイナの数、コンピュータ及び Windows の性能に依存します。

2.3 レポートを保存する

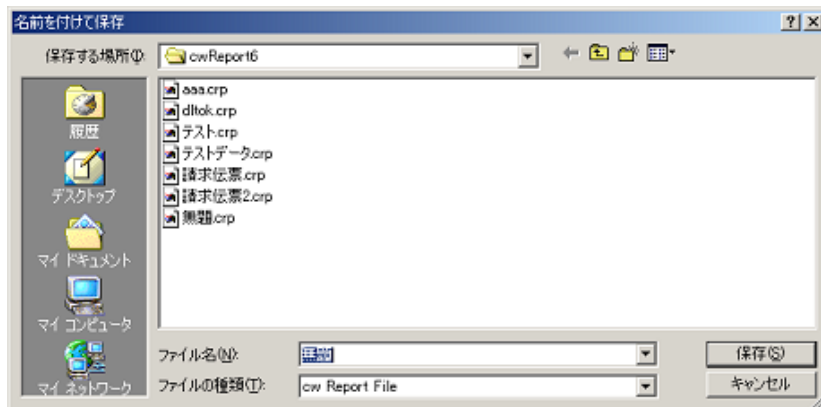
レポートの保存には、「上書き保存」と「名前を付けて保存」の2通りがあります。

「上書き保存」は、開いたときのレポートファイルの内容を、現在編集中の内容に書き換えます。但し、「新規作成」したレポートの場合、「上書き保存」を選んでも、「名前を付けて保存」と同じ動作になります。

「上書き保存」するには、「メニューバー」「ファイル」「上書き保存(S)」を選ぶか、標準ツールバーの  をマウスでクリックします。

「名前を付けて保存」は、レポートファイル名を指定して、保存します。同名のレポートファイルがある場合、「上書き」するか警告のダイアログボックスが開きます。

「名前を付けて保存」するには、「メニューバー」「ファイル」「名前を付けて保存(A)」をマウスでクリックします。「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

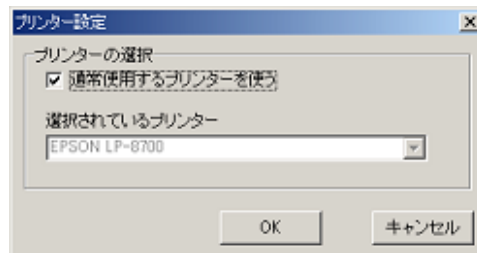


保存する場所を選び、レポートファイル名を設定して、「保存」ボタンをマウスでクリックすると、レポートが保存されます。

2.4 プリンタ設定

プリンタ設定は、レポートを印刷するためのプリンタを選びます。

プリンタを選ぶには、デザイナの「メニューバー」「ファイル」「プリンタ設定(J)」をマウスでクリックします。プリンタ設定ダイアログボックスが開きます。



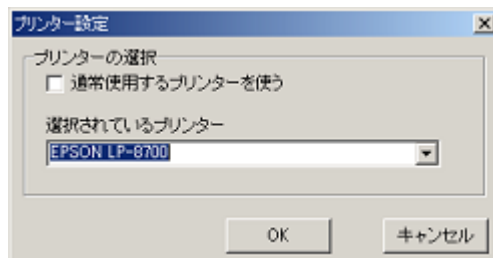
システムのデフォルト・プリンタを使用する場合

システムのデフォルト・プリンタを使用する場合は、「通常使用するプリンタを使う」チェックボックスをマウスでクリックして、チェック印を付けます。

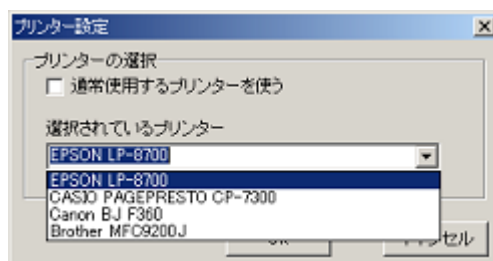
「選択されているプリンタ」コンボボックスにシステムのデフォルト・プリンタの名前が表示されます。

プリンタを選んで使用する場合

プリンタを選んで使用する場合は、「通常使用するプリンタを使う」チェックボックスにチェック印が無いことを確認します。チェック印がついている場合、マウスでクリックして、チェック印を外してください。



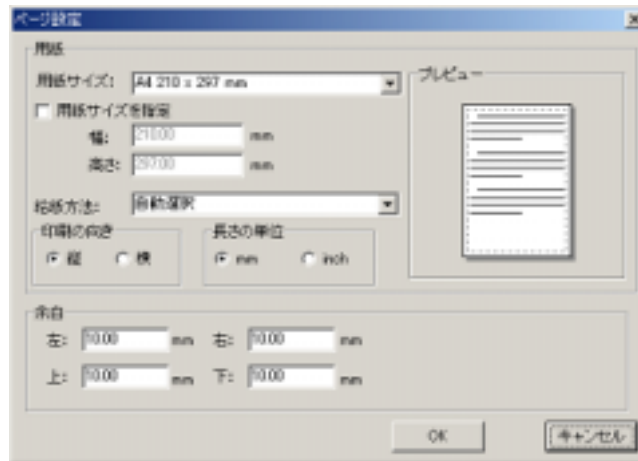
「選択されているプリンタ」コンボボックスの右端にあるプルダウンボタン (▼) をマウスでクリックして、使用するプリンタの名前を選びます。



2.5 ページ設定

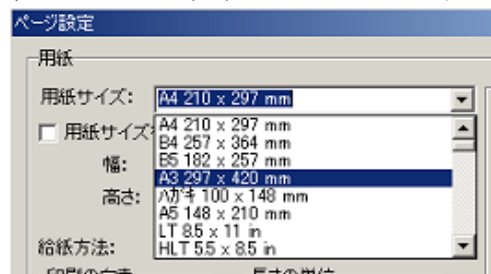
ページ設定は、レポートの用紙サイズ・印刷向き・余白・長さの単位などを設定します。

ページ設定を行うには、デザイナの「メニューバー」 「ファイル」 「プリンタ設定 (J)」をマウスでクリックします。ページ設定ダイアログボックスが開きます。



用紙サイズ・プリンタがサポートする用紙を選ぶ場合

「用紙サイズを指定」チェックボックスにチェックがついている場合、マウスでクリックして、チェック印を外します。「用紙サイズ」コンボボックスの右端にあるプルダウンボタン (▼) をマウスでクリックして、使用する用紙の名前を選びます。



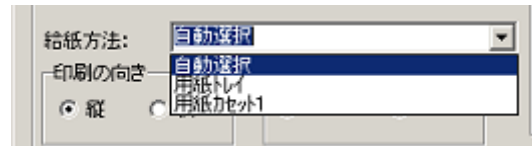
用紙サイズ・直接、長さで指定する場合

「用紙サイズを指定」チェックボックスを、マウスでクリックして、チェック印を付けます。カーソルを「幅」・「高さ」のエディットボックスに移動（エディットボックスをマウスでクリックするか、Tab キーでエディットボックスに移動）して、用紙の長さを入力します。入力単位は、ミリメートル又はインチで、「長さの単位」で指定します。



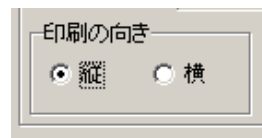
給紙方法

プリンタの給紙方法を指定します。前項のプリンタ設定で選んだプリンタに対して、どのように給紙を行うかを指定します。「給紙方法」コンボボックスの右端にあるプルダウンボタン（▼）をマウスでクリックして、給紙方法を選びます。



印刷の向き

印刷の向きを指定します。「印刷の向き」のラジオボタン「縦」または「横」をマウスでクリックして、印刷方法を選びます。



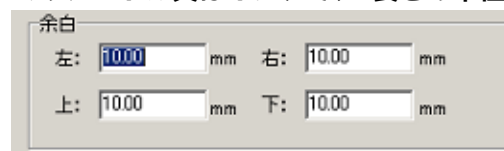
長さの単位

レポートデザイナ・印刷エンジンで使用するレポートの、長さの基本単位を指定します。「長さの単位」のラジオボタン「mm」または「inch」をマウスでクリックして、長さの単位を選びます。mm（ミリメートル）を選んだ場合、最小値は0.01mmとなります。また、inch（インチ）を選んだ場合は、最小値が0.001inchとなります。 ※長さの単位を変えると、レポート内の全てのアイテムの長さの単位に変更が反映されます。



余白

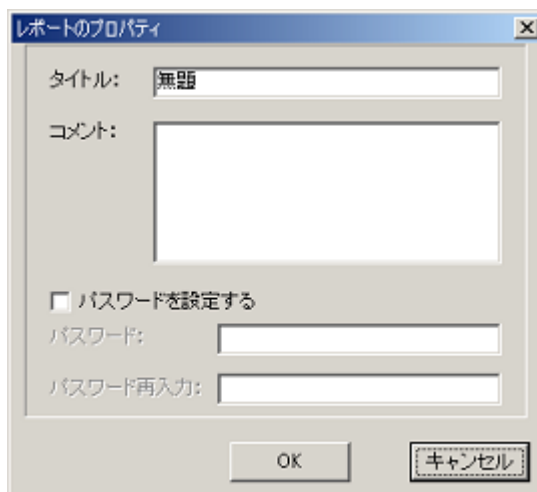
レポートの余白の大きさを指定します。カーソルを「余白」のエディットボックス「左」・「右」・「上」・「下」に移動（エディットボックスをマウスでクリックするか、Tab キーでエディットボックスに移動）して、余白の長さを入力します。入力単位は、ミリメートル又はインチで、「長さの単位」で指定します。



2.6 レポートのプロパティ設定

レポートのプロパティ設定は、レポートの名前、コメントやパスワードを設定します。

レポートのプロパティ設定を行うには、デザイナの「メニューバー」「ファイル」「プロパティ (Z)」をマウスでクリックします。レポートのプロパティ設定ダイアログボックスが開きます。



タイトル

レポートの名前を入力します。カーソルを「タイトル」のエディットボックスに移動（エディットボックスをマウスでクリックするか、Tab キーでエディットボックスに移動）して、名前を入力します。

コメント

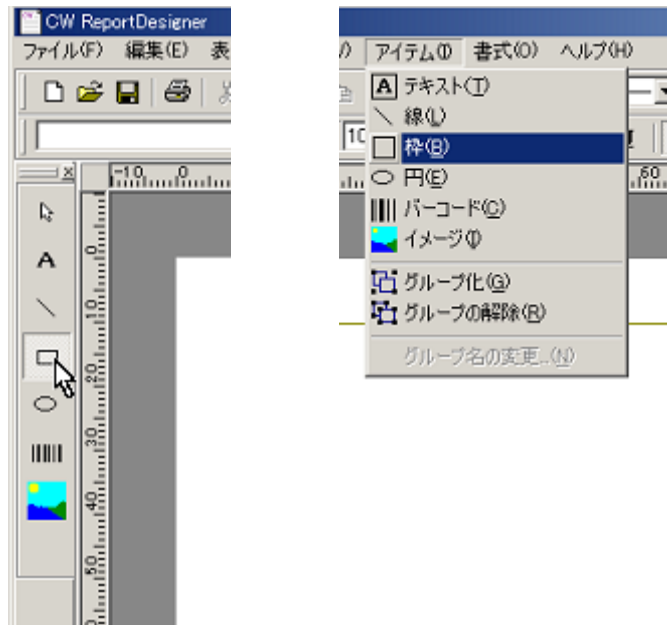
レポートのコメントを入力します。カーソルを「コメント」のエディットボックスに移動（エディットボックスをマウスでクリックするか、Tab キーでエディットボックスに移動）して、コメントを入力します。

パスワード

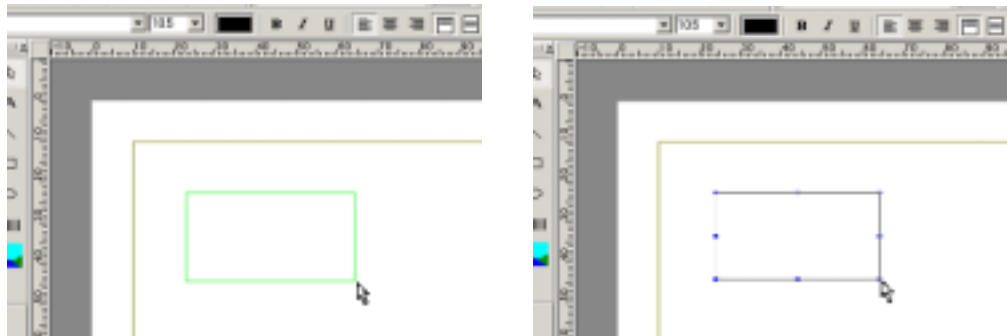
レポートにパスワードを付けて保護したい場合、「パスワードを設定する」チェックボックスを、マウスでクリックして、チェック印を付けます。カーソルを「パスワード」・「パスワード再入力」のエディットボックスに移動（エディットボックスをマウスでクリックするか、Tab キーでエディットボックスに移動）して、パスワードを入力します。パスワードは最大8文字まで入力でき、アルファベットの大文字／小文字は区別されます。なお、「パスワード」・「パスワード再入力」で入力したパスワード文字列が完全に一致しない場合、パスワードは設定されませんので、注意してください。

2.6 レポートにアイテムを挿入

レポートにアイテムを挿入するには、ツールボックスにあるアイテムの挿入ボタンをマウスでクリックするか、「メニューバー」「アイテム」のプルダウンリストから挿入したいアイテムを選びます。



次に、アイテムを挿入した居場所にマウスカーソルを移動させ、ドラッグ（マウス左ボタンを押したまま移動）して、大きさを決めます。ドラッグを終了する（マウス左ボタンを放す）と、その大きさのアイテムが挿入されます。



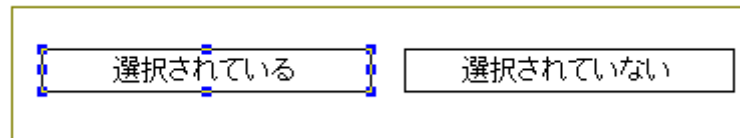
※連続して、同じアイテムを挿入したい場合は、ツールバーのアイテム挿入ボタンをShift キーを押しながらマウスでクリックします。挿入ボタンは、別のツールバーのボタンがクリックされるまで、ロックされます。

※ルーラーやステータスバーのマウスポインタ位置を参考にアイテムを挿入／配置してください。

2.7 アイテムの位置やサイズを変える

レポート上のアイテムの位置やサイズを変えるには、まずアイテムを選択状態にします。選択状態になると、サイズ変更ハンドルが、アイテムの周りに表示されます。

例) 左側のテキスト・アイテムが選択された状態。右側は選択されていません。



アイテムの4つの角と各辺の中央にある ” 小さな青い四角形 ” がサイズ変更ハンドルです。

アイテムの位置を変える

表示されているアイテムの上にマウスポインタを移動します。マウスポインタがアイテム上に位置すると、移動用のマウスポインタに変わります (☞ ⇒ ☞)。マウスでドラッグし、移動したい位置まで持って行きます。ドラッグを解除する (マウスボタン左を放す) と、その場所にアイテムが移動します。

アイテムのサイズを変える

アイテムのサイズ変更ハンドル上にマウスポインタを移動させます。サイズ変更ハンドルの上に来ると、マウスポインタはサイズ変更用のマウスポインタに変わります (☞ ⇒ ☞)。マウスでドラッグし、大きさ変えたい位置まで持って行きます。ドラッグを解除する (マウスボタン左を放す) と、その場所までサイズが変わります。

2.8 アイテムの挿入・サイズ変更・移動で方向を限定する。

方向に限定するには、Shift キーを押しながらマウスをドラッグします。

アイテム挿入時の場合

線アイテム挿入時に Shift キーを押しながらマウスをドラッグすると、線の方向を15度の整数倍で限定できます。(15度、30度、45度・・・)

円(Ellipse)アイテム挿入時に Shift キーを押しながらマウスをドラッグすると、真円が描画できます。

上記以外のアイテム (テキスト・イメージ・バーコード) 挿入時に Shift キーを押しながらマウスをドラッグすると、正方形が描画できます。

アイテムの移動の場合

アイテム移動時に Shift キーを押しながらマウスをドラッグすると、移動方向を水平又は垂直方向に限定できます。

線アイテムのサイズ変更の場合

Shift キーを押しながらマウスをドラッグすると、線の方向を 15 度の整数倍で限定できます。(15 度、30 度、45 度・・・)

2.9 アイテムの切り取り・コピー・貼り付け

クリップボードを介して、アイテムの切り取り・コピー・貼り付けができます。

切り取り

アイテムを切り取るには、切り取りたいアイテムを選択状態にします。次に、標準ツールバーの  ボタンをクリックするか、「メニューバー」「編集」「切り取り」を選びます。アイテムはレポートから切り取られ、クリップボードに保存されます。

コピー

アイテムをコピーするには、コピーしたいアイテムを選択状態にします。次に、標準ツールバーの  ボタンをクリックするか、「メニューバー」「編集」「コピー」を選びます。アイテムはレポートからコピーされ、クリップボードに保存されます。

貼り付け

クリップボードに保存されたアイテムをレポートに貼り付けるには、標準ツールバーの  ボタンをクリックするか、「メニューバー」「編集」「貼り付け」を選びます。クリップボードに保存されているアイテムがレポートに貼り付けられます。

※クリップボードに保存されたアイテムは、別に起動したレポートデザイナーにも貼り付けることができます。

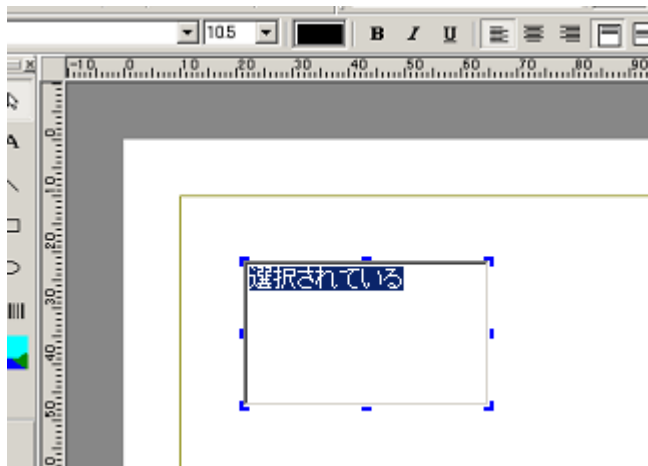
※クリップボードに保存されたアイテムは、レポートデザイナー以外のアプリケーションでは使用できません。

2.10 テキストの編集

テキストアイテムのテキスト編集について説明します。

文字列を入力する

テキストアイテムをマウスでダブルクリックすると、テキスト編集ボックスがテキストアイテムの上に現れます。テキスト編集ボックス内の文字列を編集します。編集が終わったら、ESC キーを押すか、レポートエディットボックス内の編集対象のアイテム以外のどこかをクリックします。



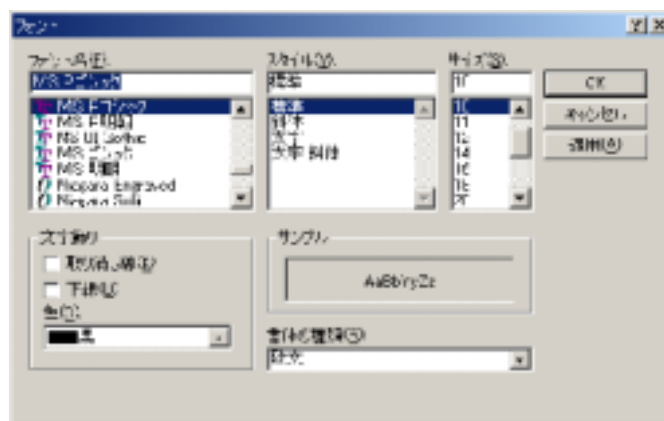
フォントを設定する

文字の大きさ、色、飾りを設定したい場合、設定たいテキストアイテムを選択状態にします。フォントの設定方法は以下の3通りがあります。

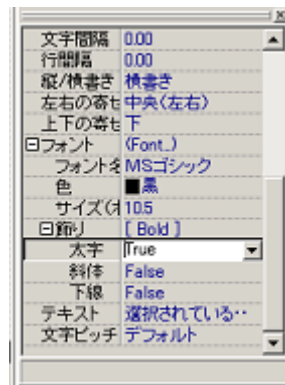
■デザイナのフォントツールバーよりフォントを設定します。



■デザイナの「メニューバー」「書式」「テキスト」よりテキストアイテムのフォント設定ダイアログを開いてフォントを設定します。



■アイテムプロパティボックスのフォント項目よりフォントを設定します。



文字の縦書き／横書きを設定する

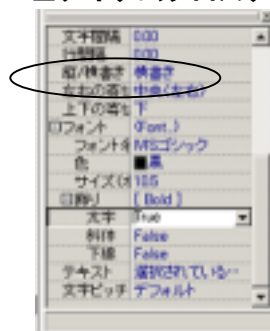
文字の縦書き／横書きを設定したい場合、設定たいテキストアイテムを選択状態にします。縦書き／横書きの設定方法は以下の2通りがあります。

■ポップアップメニューを開いて設定する

テキストアイテム上にマウスカーソルを移動させ、右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの「文字の縦書き・横書き」にマウスカーソルを合わせると、縦書き／横書きのサブメニューが表示されます。サブメニューより縦書き／横書きをマウスでクリックして選びます。



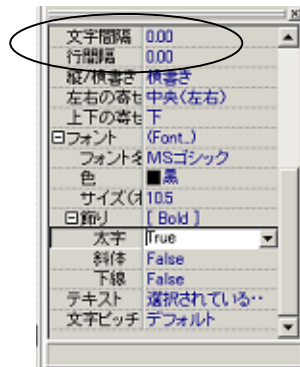
■アイテムプロパティボックスより設定する



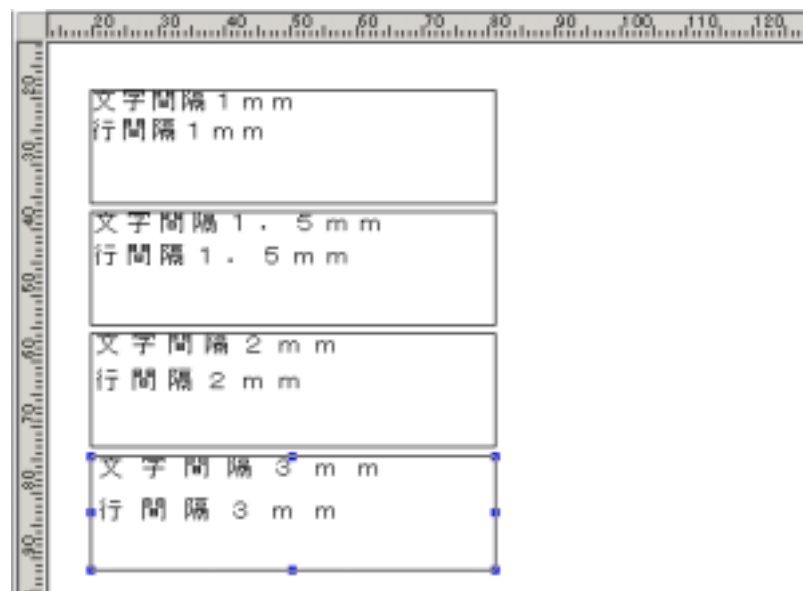
縦／横書き プルダウンメニューより縦書き・横書きを選びます。

文字の間隔・行の間隔を設定する

文字の間隔・行の間隔を設定したい場合、設定たいテキストアイテムを選択状態にします。アイテムプロパティボックスの「文字間隔」「行間隔」項目選んで、設定します。



文字・行間隔の設定結果のサンプルを以下に示します。



文字の寄せ・行の寄せを設定する

文字の寄せ・行の寄せを設定したい場合、設定たいテキストアイテムを選択状態にします。文字の寄せ・行の寄せの設定方法は以下の2通りがあります。

■フォントツールバーの寄せ編集ボタンで、文字の寄せ・行の寄せを設定する

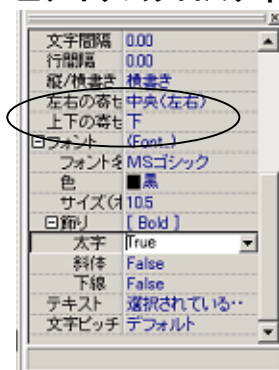


-  文字を左に寄せます。
-  文字を中央に寄せます。

 文字を右に寄せます。
 文字を均等に配置します。

 行を上寄せます。
 行を中央寄せます。
 行を下寄せます。
 行を均等に配置します。

■アイテムプロパティボックスより文字の寄せ・行の寄せを設定する



[左右の寄せ] 文字の寄せを設定します。
 [上下の寄せ] 行の寄せを設定します。

寄せの設定結果のサンプルを以下に示します。



2.11 線や枠の設定

アイテムの線や枠の設定について説明します。

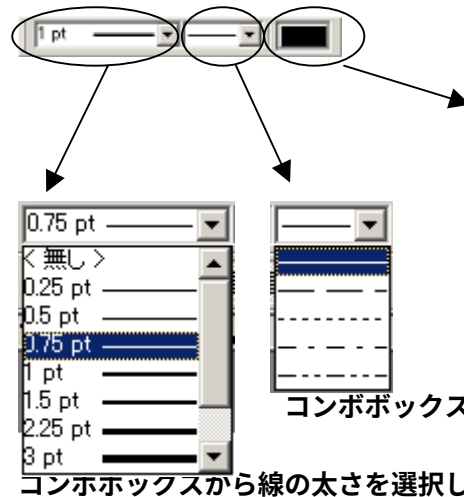
線の太さや模様を設定する

線や枠の設定をしたい場合、設定したいアイテム（線・枠・円・テキスト）を選択状態にします。線や枠の設定方法は以下の3通りがあります。

■デザイナの「線ツールバー」より設定する



線ツールバーには、アイテムの枠や線の太さ、種類や色を操作するボタンが配置されています。



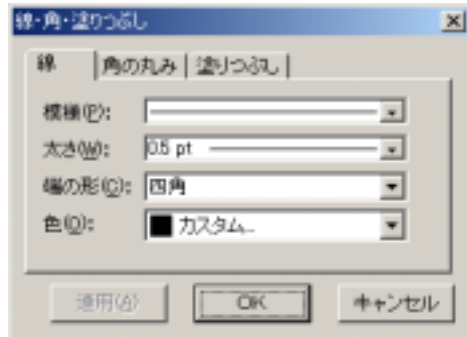
色選択ダイアログボックスを開きます。線の色を色選択ダイアログボックスから選びます。

コンボボックスから線の模様を選択します

コンボボックスから線の太さを selects します。

■線・角・塗りつぶし設定ダイアログボックスを開いて設定する。

線・角・塗りつぶし設定ダイアログボックスを開いて設定するには、デザイナの「メニューバー」「書式」「線・角・塗りつぶし」を選びます。



線に関して設定する場合は、「線」のタグをマウスでクリックして、線の設定ページを開きます。変更したいプルダウンメニューの（▼）ボタンをマウスでクリックして、設定内容を選びます。

■アイテムプロパティボックスより線の設定をする

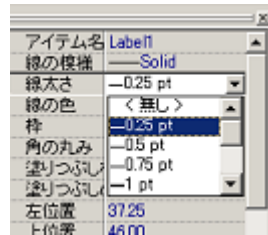
線の模様を選ぶ

「線の模様」のプルダウンメニューより線の模様を選びます。



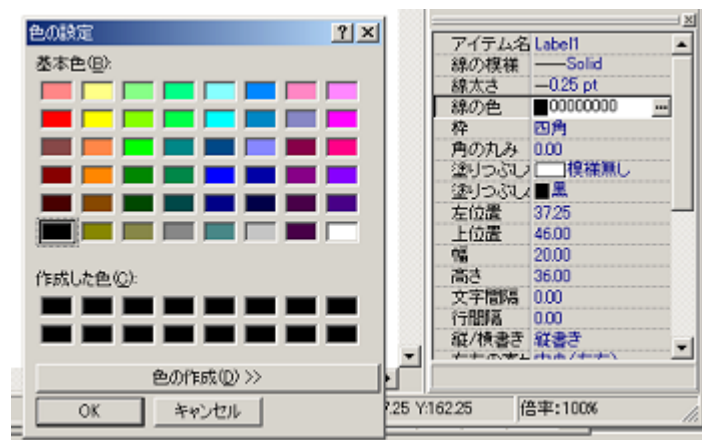
線の太さを選ぶ

「線の太さ」のプルダウンメニューより線の太さを選びます。



線の色を選ぶ

「…」ボタンをマウスでクリックして、「色の設定」のダイアログボックスを開き、線の色を選びます。

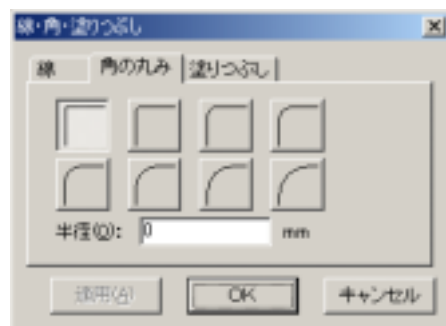


枠の角の丸みを設定する

枠の角の丸みを設定したい場合、設定したいアイテム（枠・テキスト・イメージ）を選択状態にします。枠の角の丸みの設定方法は以下の2通りがあります。

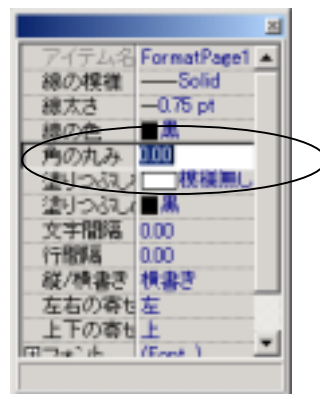
■線・角・塗りつぶし設定ダイアログを開いて設定する。

線・角・塗りつぶし設定ダイアログを開いて設定するには、デザイナの「メニューバー」「書式」「線・角・塗りつぶし」を選びます。



角の丸みに関して設定する場合は、「角の丸み」のタグをマウスでクリックして、角の丸みの設定ページを開きます。丸みを示すボタンを選ぶか、直接、数値を入力します。

- アイテムプロパティボックスより角の丸みの設定をする
角の丸みのエディットボックスに数値を入力します。

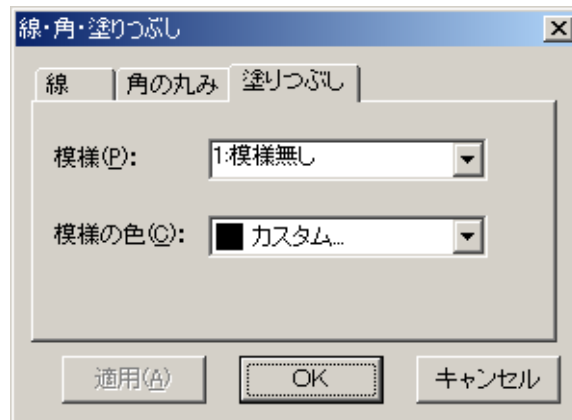


枠内の塗りつぶしの設定をする

枠内の塗りつぶしの設定をしたい場合、設定したいアイテム（枠・テキスト）を選択状態にします。枠内の塗りつぶしの設定方法は以下の2通りがあります。

- 線・角・塗りつぶし設定ダイアログボックスを開いて設定する。

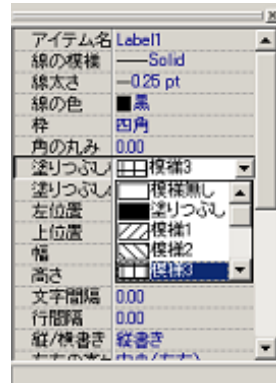
線・角・塗りつぶし設定ダイアログボックスを開いて設定するには、デザイナの「メニューバー」→「書式」→「線・角・塗りつぶし」を選びます。



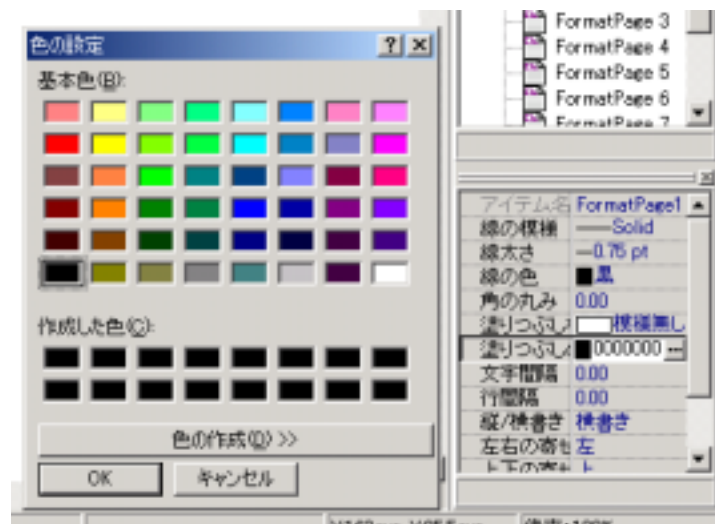
枠内の塗りつぶしに関して設定する場合は、「塗りつぶし」のタブをマウスでクリックして、塗りつぶしの設定ページを開きます。変更したいプルダウンメニューの（▼）ボタンをマウスでクリックして、設定内容を選びます。

■ アイテムプロパティボックスより枠内の塗りつぶしの設定をする

「塗りつぶしの模様」プルダウンメニューの(▼) ボタンをマウスでクリックして、設定内容を選びます。

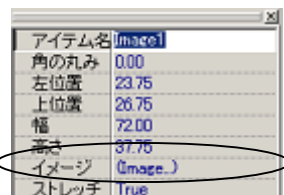


「…」 ボタンをマウスでクリックして、「色の設定」のダイアログボックスを開き、線の色を選びます。



2.12 イメージの読み込み

イメージアイテムに、イメージファイル（ビットマップ・JPEG・メタファイル）を読み込ませるには、まず、イメージアイテムを選択状態にします。アイテムプロパティボックスの「イメージ」をマウスでクリックします。「イメージ」の右端に「…」ボタンが表示されます。



Windows Explorer window showing the 'My Pictures' folder. The file 'PIC0020.JPG' is selected. The right pane shows a preview of the image, which is a blue sky with a small red crosshair. The address bar shows 'C:\660x1920'.

メッセージアイテムの角に丸みをつけることができます。丸みをつけるには、イメージアイテムを選択状態にします。アイテムプロパティボックスの「角の丸み」項目を設定します。指定する値は、角の丸みの半径を数字で指定します。大きい値を設定すると、円(楕円)に近づきます。

アイテム名	image1
角の丸み	0.00
左位置	100.00
上位置	61.50
幅	31.00
高さ	31.75
イメージ	(Image...)
ストレッチ	True

バーコード専用プロパティを設定するには、まず、バーコードアイテムを選択状態にします。プロパティボックスより、必要なプロパティ項目を設定します。

アイテムプロパティボックスよりバーコードの種類を選びます。

アイテム名	Barcode1
左位置	17.50
上位置	76.25
幅	75.00
高さ	21.00
バーコード	Code39
コード	ITF
バー比率	Matrix2of5
バーの色	Code39
背景の色	Code39フルアスキー
チェックデ	Code128
回転	0°
文字フォ	
フォントサイ	10

コレポは以下のバーコードをサポートします。

JAN13/EAN13 JAN18/EAN8 UPCA UPCE ITF Matrix2of5 Code39
Code39 フルアスキー Code128 NW7 IATA Industrial2of5 郵便カスタマ

バーコード化する数字又は、文字列を設定する

アイテムプロパティボックスの「コード」のエディットボックスにバーコード化する数字又は、文字列を入力します。

アイテム名	Barcode1
左位置	17.50
上位置	76.25
幅	75.00
高さ	21.00
バーコード	Code39
コード	SPW-120-SHJ
バー比率	3.0
バーの色	■黒
背景の色	□白
チェックデ	False
回転	0°
文字フォ	
フォントサイ	10

細いバー（ナローバー）と太いバー（ワイドバー）の比率を設定する

アイテムプロパティボックスの「バー比率」のエディットボックスに、バーコードを構成する細いバー（ナローバー）と太いバー（ワイドバー）の比率を指定します。指定する値は、細いバーの太さを1としたときの太いバーの太さを指定します。指定できる範囲は2.0～3.0の間で、0.1刻みに指定できます。但し、JAN/EAN、UPC、CODE128、郵便カスタマーに対して、この比率は意味を持ちません。

アイテム名	Barcode1
左位置	17.50
上位置	76.25
幅	75.00
高さ	21.00
バーコード	Code39
コード	SPW-120-SHJ
バー比率	3.0
バーの色	■黒
背景の色	□白

バーの色／背景の色を設定する

アイテムプロパティボックスの「バーの色／背景の色」の「…」ボタンをクリックすると色設定ダイアログボックスが開きます。色設定ダイアログボックスで色や色の濃さを選びます。インクジェットプリンタで、色にじみを避けるためには、色設定ダイアログボックスの「色の作成」で明るさを調整します。明るくすると、色にじみが少なくなります。

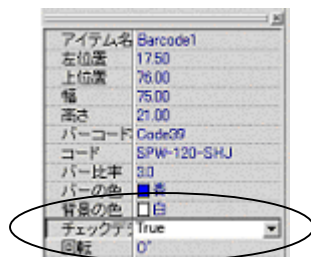


濃度を変えたサンプル



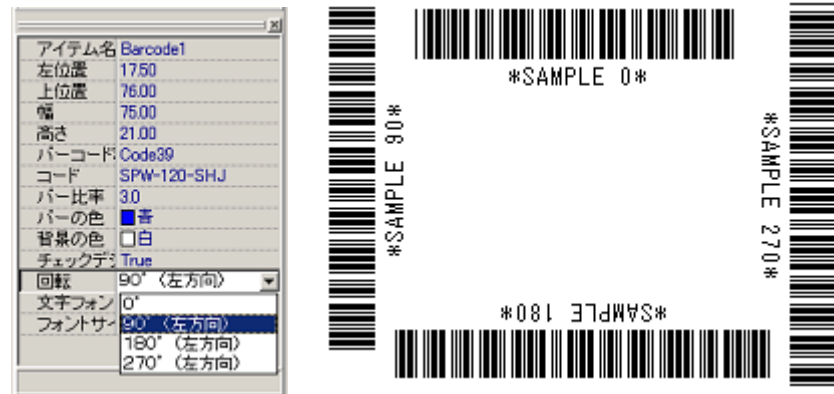
チェックデジットを設定する

アイテムプロパティの「チェックデジット」で、自動でチェックデジットを付加するか否かを設定（True／Falseを選択）します。但し、JAN/EAN、UPC、CODE 128、IATA 2 of 5、郵便カスタマーに関しては、この設定に関わらず、チェックデジットが付いていない場合、自動で、チェックデジットが付加されます。



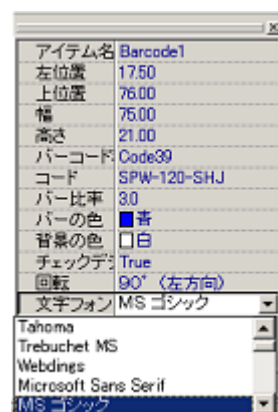
バーコードの表示向きを設定する

アイテムプロパティの「回転」で、表示するバーコードの向きを設定します。プロパティボックスの「回転」プロパティをマウスでクリックすると、右端に「▼」ボタン（プルダウンボタン）が現れます。プルダウンボタンをクリックして現れるプルダウンメニューから、回転方向を選びます。

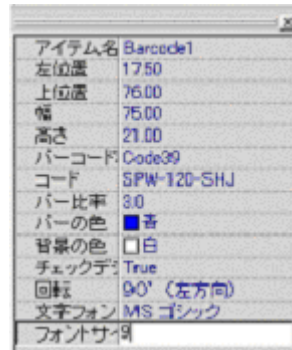


ヒューマンリーダブル文字のフォント・サイズを設定する

アイテムプロパティの「フォント」で、バーコードの下に表示されるコード文字のフォントを選びます。



アイテムプロパティの「フォントサイズ」のエディットボックスに文字の大きさを数字で入力します。範囲は6～72ポイントです。



CODE 128の補足説明

CODE 128は、バーコードとそれを表すキャラクタが一对一になっているのは異なり、スタートキャラクタ、シフトキャラクタの選択により、一つのコードが3種類のデータを現せます。また、UPC CASE CODE, EANの物流シンボル(UCC/EAN 128)として採用されています。

(1) キャラクタ構成表

指定できるキャラクタの構成表を以下に示します

数値	CODE A	CODE B	CODE C
0	[SP]	[SP]	00
1	!	!	01
2	“	“	02
3	#	#	03
4	\$	\$	04
5	%	%	05
6	&	&	06
7	‘	‘	07
8	(	(	08
9	)	)	09
10	*	*	10
11	+	+	11
12	,	,	12
13	-	-	13
14	.	.	14

数値	CODE A	CODE B	CODE C
54	V	V	54
55	W	W	55
56	X	X	56
57	Y	Y	57
58	Z	Z	58
59	[[※1	]	59
60	\	\	60
61	]] ※1	]]	61
62	^	^	62
63	_	_	63
64	[NUL]	,	64
65	[SOH]	a	65
66	[STX]	b	66
67	[ETX]	c	67
68	[EOT]	d	68

15	/	/	15
16	0	0	16
17	1	1	17
18	2	2	18
19	3	3	19
20	4	4	20
21	5	5	21
22	6	6	22
23	7	7	23
24	8	8	24
25	9	9	25
26	:	:	26
27	;	;	27
28	<	<	28
29	=	=	29
30	>	>	30
31	?	?	31
32	@	@	32
33	A	A	33
34	B	B	34
35	C	C	35
36	D	D	36
37	E	E	37
38	F	F	38
39	G	G	39
40	H	H	40
41	I	I	41
42	J	J	42
43	K	K	43
44	L	L	44
45	M	M	45
46	N	N	46
47	O	O	47
48	P	P	48
49	Q	Q	49
50	R	R	50
51	S	S	51
52	T	T	52
53	U	U	53

69	[ENQ]	e	69
70	[ACK]	f	70
71	[BEL]	g	71
72	[BS]	h	72
73	[HT]	i	73
74	[LF]	j	74
75	[VT]	k	75
76	[FF]	l	76
77	[CR]	m	77
78	[SO]	n	78
79	[SI]	o	79
80	[DLE]	p	80
81	[DC1]	q	81
82	[DC2]	r	82
83	[DC3]	s	83
84	[DC4]	t	84
85	[NAK]	u	85
86	[SYN]	v	86
87	[ETB]	w	87
88	[CAN]	x	88
89	[EM]	y	89
90	[SUB]	z	90
91	[ESC]	{	91
92	[FS]		92
93	[GS]	}	93
94	[RS]	~	94
95	[US]	[DEL]	95
96	[FNC3]	[FNC3]	96
97	[FNC2]	[FNC2]	97
98	[SHIFT]	[SHIFT]	98
99	[CODEC]	[CODEC]	99
100	[CODEB]	[CODEB]	100
101	[FNC4]	[FNC4]	101
102	[FNC1]	[FNC1]	102
103	A ([CODEA])		
104	B ([CODEB])		
105	C ([CODEC])		

※1 カギ括弧 [] は制御コードの開始終了を示すため、カギ括弧を現す場合は、連続して記述します。[[と記述したカギ括弧をバーコードリードで読み込んだ場合は [] として読み込まれます。

※2 制御コード (FNC 1, FNC 2, NUL, SOH...) はギ括弧で囲んで記述します。カギ括弧で囲まない場合、単なる文字列と認識されますので、必ず制御文字はカギ括弧 ([]) で括ってください。

※3 スタートコードは、A, B, C のどれかを記述します。途中でコードを変える場合は、[SHIFT] 又は直接 [CODEB]、[CODEC] と記述します。

(2) コード記述例

・出荷用コンテナコード (EAN 128) の記述例

包装・JANコード・正味重量の順に表現するコード記述例とするとして、包装 9、JANコード4901234567894、正味重量355であるとして、この場合の記述は、半角文字列で、

スタートコード	C
スタートキャラクタセット	[FNC1]
AI (出荷コンテナコード)	01
包装	9
JANコード	4901234567894
AI (正味重量)	3101
正味重量値	000325

上記文字列をつなぎ合わせて、

C [FNC1] 01949012345678943101000325
となります。

EAN128 (UCC/EAN128) の補足説明

EAN128は、シンボル規格のCODE128をベースにした物流用のアプリケーション規格です。アプリケーション識別子AIとそれに続くAIの内容を示すコードで構成されます。「AI+内容コード」の組み合わせで梱包内容物に関する情報を現します。なお、指定できる文字は前述の「CODE128の補足説明」を参照してください。AIの値や、内容コードの仕様は、UCC/EAN128の規格書を参照してください。

(1) コード記述例

・出荷用コンテナコード (EAN 128) の記述例

包装・JANコード・正味重量の順に表現するコード記述例とするとして、包装 9、JANコード4901234567894、正味重量355であるとして、この場合の記述は、半角文字列で、

スタートコード	C
スタートキャラクタセット	[FNC1]
AI (出荷コンテナコード)	01
包装	9
JANコード	4901234567894
AI (正味重量)	3101
正味重量値	000325

上記文字列をつなぎ合わせて、

C [FNC1] 01949012345678943101000325
となります。

CODE 39フルアスキーの補足説明

CODE 39フルアスキーは、CODE 39で使用するコードを2つ組み合わせて、フルアスキーを表示することをできるようにしたものです。

(1) キャラクタ構成表

指定できるキャラクタ (ASCII) の構成と、CODE 39での組み合わせを以下に示します。

CODE39 フルアスキー	CODE39	CODE39 フルアスキー	CODE39	CODE39 フルアスキー	CODE39	CODE39 フルアスキー	CODE39
[NUL]	%U	空白	空白	@	%V	`	%W
[SOH]	\$A	!	/A	A	A	a	+A
[STX]	\$B	“	/B	B	B	b	+B
[ETX]	\$C	#	/C	C	C	c	+C
[EOT]	\$D	\$	/D	D	D	d	+D
[ENQ]	\$E	%	/E	E	E	e	+E
[ACK]	\$F	&	/F	F	F	f	+F
[BEL]	\$G	‘	/G	G	G	g	+G
[BS]	\$H	(	/H	H	H	h	+H
[HT]	\$I	)	/I	I	I	i	+I
[LF]	\$J	*	/J	J	J	j	+J
[VT]	\$K	+	/K	K	K	k	+K
[FF]	\$L	,	/L	L	L	l	+L
[CR]	\$M	-	-	M	M	m	+M
[SO]	\$N	.	.	N	N	n	+N
[SI]	\$O	/	/O	O	O	o	+O
[DLE]	\$P	0	0	P	P	p	+P
[DC1]	\$Q	1	1	Q	Q	q	+Q
[DC2]	\$R	2	2	R	R	r	+R
[DC3]	\$S	3	3	S	S	s	+S
[DC4]	\$T	4	4	T	T	t	+T
[NAK]	\$U	5	5	U	U	u	+U
[SYN]	\$V	6	6	V	V	v	+V
[ETB]	\$W	7	7	W	W	w	+W
[CAN]	\$X	8	8	X	X	x	+X
[EM]	\$Y	9	9	Y	Y	y	+Y
[SUB]	\$Z	:	/Z	Z	Z	z	+Z
[ESC]	%A	;	%F	[[※1	%K	{	%P

[FS]	%B	<	%G	\	%L		%Q
[GS]	%C	=	%H	]] ※1	%M	}	%R
[RS]	%D	>	%I	^	%N	~	%S
[US]	%E	?	%J	_	%O	[DEL] ※2	%T

※1 カギ括弧 [] は制御コードの開始終了を示すため、カギ括弧を現す場合は、連続して記述します。[[と記述したカギ括弧をバーコードリードで読み込んだ場合は[として読み込まれます。

※2 CODE39 で、%X,%Y,%Z も CODE39 フルアスキーの DEL を現します。

※3 制御コード (NUL,SOH,STX...) はカギ括弧で囲んで記述します。カギ括弧で囲まない場合、単なる文字列と認識されますので、必ず制御文字はカギ括弧 ([]) で括ってください。

(2) コード記述例

・最後に改行コード付加した文字列を指定する場合

“Code39[Full Ascii Code]” という文字列に改行コードを追加して表示する場合は、

Code39[[Full Ascii Code]][CR]

と記述します。

2.15 複数のアイテムを選択する

アイテム同士の位置合わせや移動、複数のアイテムで同じフォントを使用したい場合や同じように線の模様を変えたい場合、または、関係のあるアイテムを1つのグループにしたい場合など様々な場面で、複数アイテムを選択状態にする必要があります。ここでは、複数のアイテムを選択する方法を説明します。方法は以下の2通です。

■マウス・クリックで複数のアイテムを選択する

最初のアイテムをマウスクリックで選択し、次からは Shift キーを押しながら他のアイテムを 1 つずつクリックして選択します。最初のアイテムの選択ハンドルは青で表示され、他のアイテムの選択ハンドルは緑で表示されます。

■マウス・ドラッグでアイテムを選択する

選択する図形の周りをマウスでドラッグして、選択します。



マウスボタンを離すと、選択ネット（緑色の線の枠）で囲まれたアイテムがすべて

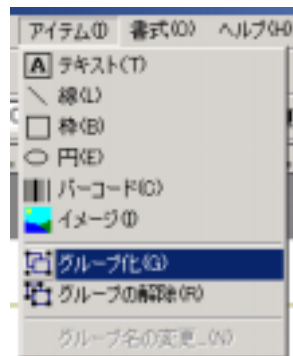
選択された状態になります。



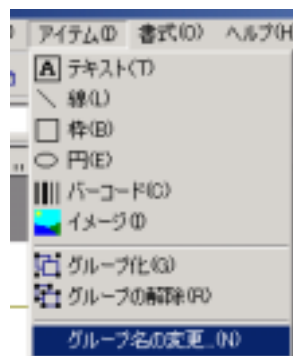
2.16 グループ化

グループ化とは、アイテムをグループ名+アイテム名で識別するようにするものです。これにより、グループ名が異なれば、アイテム名が同じでも別のものとみなされます。繰り返し同じ内容の行がある表形式のレポートでは、行単位にアイテムをグループ化すると、プログラムからの操作が非常に楽になる場合があります。

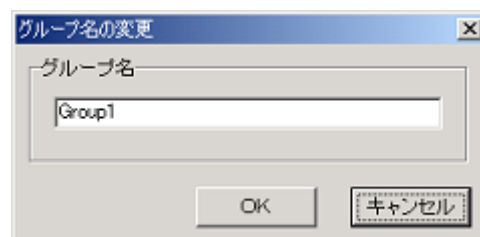
関係のある複数のアイテムを1つのグループにするには、「2.15 複数のアイテムを選択する」で示した方法で、関係のあるアイテムを全て選択状態にします。次に、「メニューバー」「アイテム」「グループ化」を選びます。



グループ名は自動で、「GroupXX」(XX は数字)と割り当てられます。グループ名を変えたい場合は、グループが選択されている状態で「メニューバー」「アイテム」「グループ名の変更」を選びます。

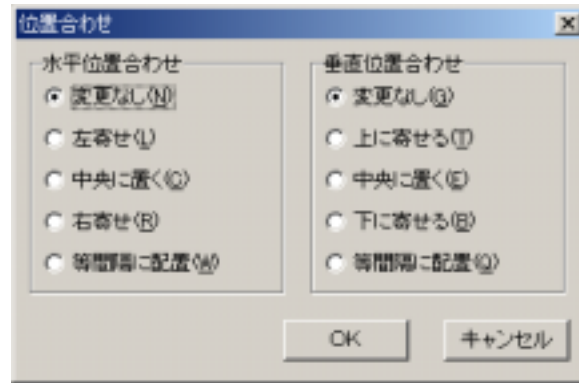


「グループ名の変更」ダイアログボックスが表示されます。エディットボックス内のグループ名を編集して、「OK」ボタンを押してください。グループ名が入力した新しい名前に変わります。もし操作を取り消したい場合は、「キャンセル」ボタンを押してください。変更は反映されません。



2.17 位置合わせ

複数のアイテムを位置合わせするには、位置合わせしたいアイテムを全て選択状態にします（2.15 複数のアイテムを選択する）。次に、「メニューバー」「編集」「位置合わせ」をマウスでクリックして、「位置合わせ」ダイアログボックスを開きます。



水平方向・垂直方向の合わせを選んで、「OK」ボタンを押してください。選んだ位置合わせが実行されます。操作を行わない場合は、「キャンセル」ボタンを押します。変更は反映されません。

水平方向の位置合わせ

変更無し

水平方向の位置合わせは行われません。

左寄せ

選択されているアイテムの中で、一番左側にアイテムの左端があるアイテムに、他の選択されているアイテムの左端を合わせます。

中央寄せ

選択されているアイテムの中で、一番左側にアイテムの左端があるアイテムの左端位置と、一番右側にアイテムの右端があるアイテムの右端位置の中央を選択されているアイテムの水平方向の中央として、位置を合わせます。

右寄せ

選択されているアイテムの中で、一番右側にアイテムの右端があるアイテムに、他の選択されているアイテムの右端を合わせます。

等間隔に配置

選択されているアイテムの中で、一番左にアイテムの左端があるアイテムの左端と、一番右にアイテムの左端があるアイテムの左端を範囲として、等間隔にアイテムを位置合わせします。

垂直方向の位置合わせ

変更無し

垂直方向の位置合わせは行われません。

上寄せ

選択されているアイテムの中で、一番上にアイテムの上端があるアイテムに、他の選択されているアイテムの上端を合わせます。

中央寄せ

選択されているアイテムの中で、一番上にアイテムの上端があるアイテムの上端位置と、一番下側にアイテムの下端があるアイテムの下端位置の中央を選択されているアイテムの垂直方向の中央として、位置を合わせます。

下左寄せ

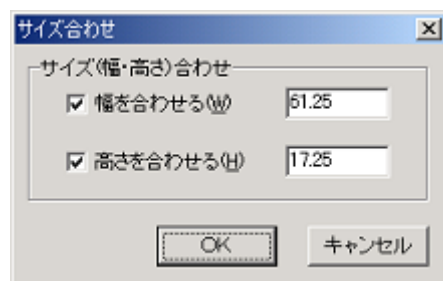
選択されているアイテムの中で、一番下側にアイテムの下端があるアイテムに、他の選択されているアイテムの下端を合わせます。

等間隔に配置

選択されているアイテムの中で、一番上にアイテムの上端があるアイテムの上端と、一番下にアイテムの上端があるアイテムの上端を範囲として、等間隔にアイテムを位置合わせします。

2.18 サイズ合わせ

複数のアイテムを同じサイズに合わせるには、同じサイズに合わせたいアイテムを全て選択状態にします 2.15 複数のアイテムを選択する)。次に、「メニューバー」「編集」「サイズ合わせ」をマウスでクリックして、「サイズ合わせ」ダイアログボックスを開きます。



幅を合わせる

「幅を合わせる」チェックボックスにチェック(レ印)をつけます。チェックボックス右横のエディットボックスにサイズを入力します。

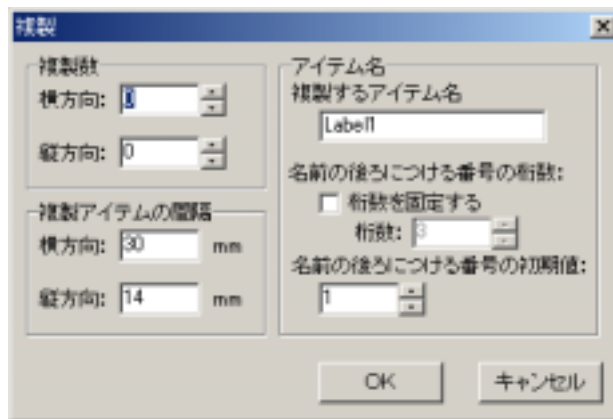
高さを合わせる

「高さを合わせる」チェックボックスにチェック(レ印)をつけます。チェックボックス右横のエディットボックスにサイズを入力します。

2.19 複製する

形式のレポートを作成する場合、一定の間隔で、同じアイテムを幾つもレポートに挿入する場合があります。このような時、「複製」機能を使うと、瞬時に目的のアイテムが表形式で作成できます。

「複製」機能を使用するには、複製したいアイテムまたはグループを選択（複数選択は不可）します。「メニューバー」「編集」「複製」メニューから、「複製」ダイアログボックスを開くか、右クリックでポップアップメニューを開き、「複製」メニューから「複製」ダイアログボックスを開きます。



複製数

横方向

複製元のアイテムの右側（水平右方向）に複製するアイテムの数を指定します。

縦方向

複製元のアイテムの下側（垂直下方向）に複製するアイテムの数を指定します。

複製アイテムの間隔

横方向

複製するアイテムの水平右方向の間隔を指定します。左隣のアイテムの左端からの距離が基準です。20mm幅のアイテムを10mm間を開けて配置するように複製するには、30mmを指定します。 $(20 + 10 = 30)$

縦方向

複製するアイテムの垂直下方向の間隔を指定します。上隣のアイテムの上端からの距離が基準です。10mm高のアイテムを5mm間を開けて配置するように複製するには、15mmを指定します。 $(10 + 5 = 15)$

アイテム名（グループが選択されている場合はグループ名になります）

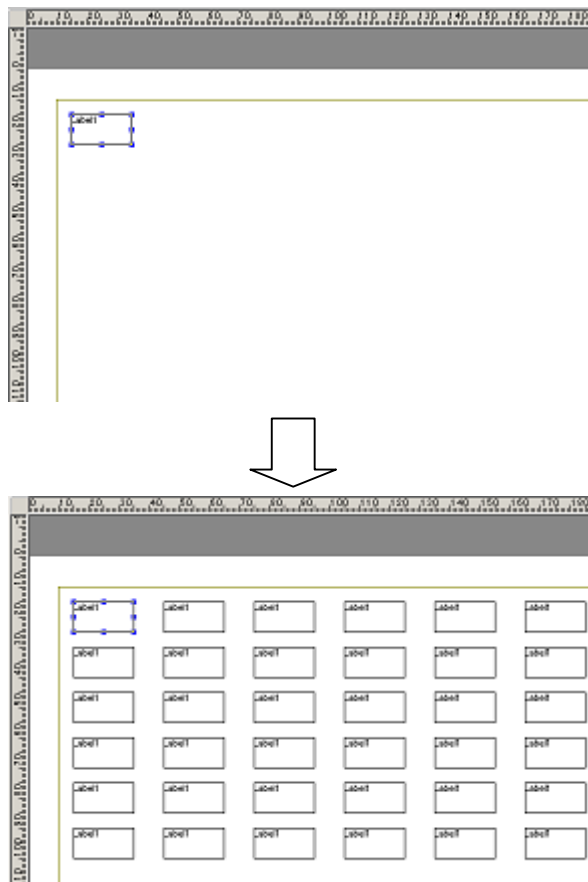
複製するアイテム名を入力します。

名前の後ろにつける番号の桁数

名前の後ろにつける番号の桁数を固定する場合は、「桁数を固定する」チェックボックスにチェックします。そして、桁数に必要な桁数を入力します。また、名前の後ろにつける番号の初期値を指定したい場合は、「名前の後ろにつける番号の初期値」エディットボックスに初期値を入れます。

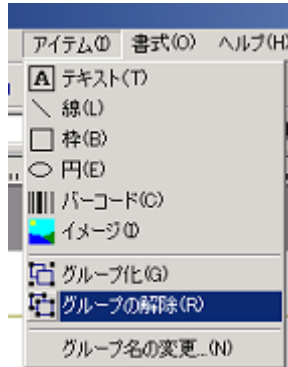
※番号はアイテムの縦方向の順番に割り当てられます。

例) アイテム（幅20mm、高さ10mm）を横5個、縦5個、間隔を横30mm縦15mmで複製した場合（アイテム同士の間隔は横10mm縦5mmとなります）



2.20 グループを解除する

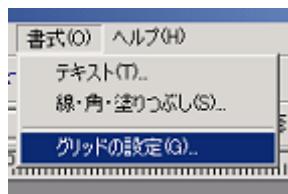
グループを解除して、グループ内のアイテムを独立したアイテムに戻すには、解除したいグループを選択状態にします。次に「メニューバー」「アイテム」「グループ解除」メニューを選ぶか、右クリックでポップアップメニューを開き「グループ解除」を選びます。



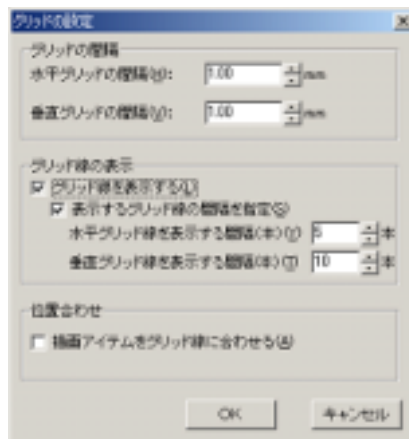
既にグループ内と同じアイテム名を持つ独立したアイテムが存在する場合、グループの解除はエラーとなります。必ず、解除する前に、同名の独立したアイテムが無いことを確認してから、グループの解除を行ってください。

2.21 グリッド線

グリッド線を設定するには、「メニューバー」「書式」「グリッドの設定」を選びます。



「グリッドの設定」ダイアログが開きます。



グリッドの間隔

水平グリッドの間隔：水平方向に引かれるグリッド線の間隔を指定します。
垂直グリッドの間隔：垂直方向に引かれるグリッド線の間隔を指定します。

グリッド線の表示

グリッド線を表示したい場合、「グリッド線を表示する」チェックボックスにチェックします。

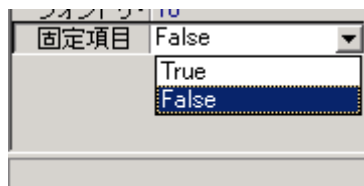
グリッド線の表示間隔を指定したい場合、「表示するグリッド線の間隔を指定」チェックボックスにチェックします。そして、何本毎にグリッド線を表示するか水平方向・垂直方向ごとに指定します。

位置合わせ

アイテムの挿入、移動、サイズ変更のときに、グリッド線にアイテムをあわせたい場合、「描画アイテムをグリッド線に合わせる」チェックボックスにチェックします。また、同様なことが「メニューバー」「編集」「グリッドに合わせる」にチェックすることで同様にできます。

2.2.2 固定項目プロパティ

固定項目プロパティは、テキスト／バーコード／イメージ・アイテムの印刷(表示)データをクリア関数 (ClearItemData/ClearAllText/ClearAllBarcode/ClearAllImage 関数) などで、消去されないようにするためのプロパティです。固定項目のプロパティを設定するには、設定したいアイテムを選択して、プロパティボックスの固定項目より設定します。



固定項目プロパティを True に設定されたアイテムは、クリア関数でデータが消去されません。帳票内のタイトルなど変わることの無いものに設定します。

2.23 オーバーレイ表示を使ってトレースする

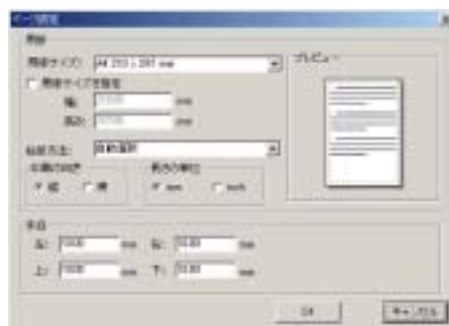
既存の帳票と同じ形式の帳票をデザインする場合、オーバーレイ表示機能を使用すると、簡単に、既存の帳票と同じデザインの帳票を作成することができます。新規に帳票を作成する場合で説明していきます。

1. 画像の取り込み

まず、既存の帳票をスキャナを使ってイメージファイルとして、取り込みます（コレポにはスキャナ取り込み機能は有りません。スキャナに添付されているソフトなどで取り込んでください。また、取り込んだイメージ画像を編集する必要がある場合は、市販のイメージ編集ソフト等で編集します。）。

2. 用紙の設定

コレポデザイナーを起動して、新規作成ボタン（）を押して、空のレポートを作成します。次に、[ファイル]メニューのページ設定(U)... を選んでページ設定ダイアログを開きます。

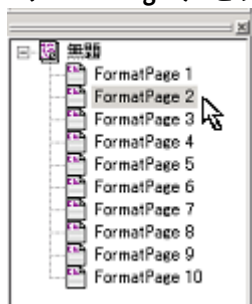


用紙の大きさを設定して、最後に余白を設定します。この場合、帳票イメージを貼り付けるので、余白があると用紙全体に広げられません。余白を全て0に設定します。

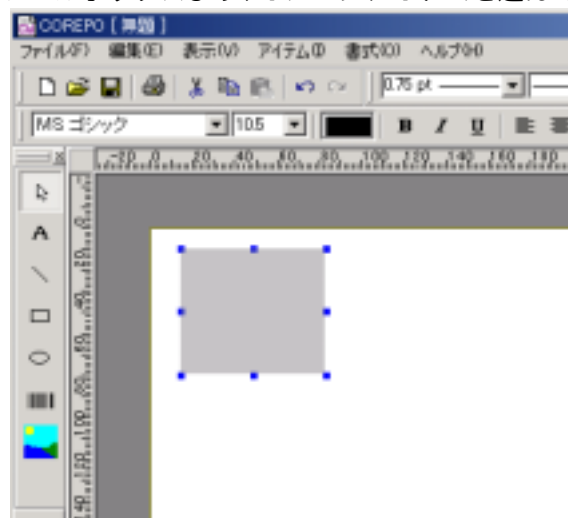
[OK]ボタンをクリックすると、「余白が0」である旨のエラーメッセージが出ますが、[いいえ]ボタンを押して修正せずに終了させます。

3. イメージの読み込み

帳票イメージを貼り付けるレイアウトページを決めて、そのページを選択します。（ここでは、レイアウトページ2に帳票イメージを読み込むようにして説明していきます。）アイテムビュー・ボックスのレイアウトページ2（FormatPage2）をクリックします。

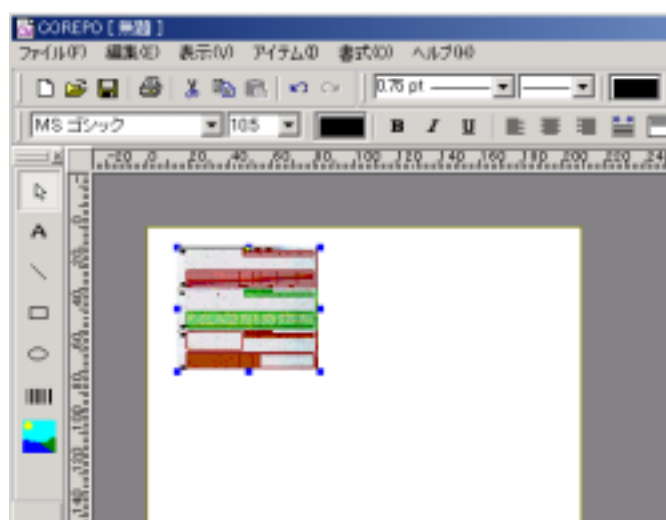
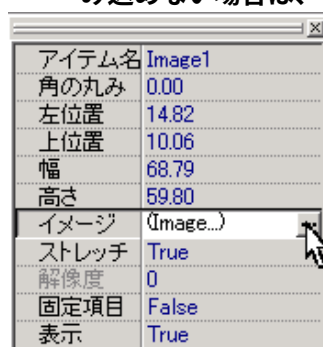


ツールボックスより、イメージアイテムを選んで、レポートに貼り付けます。

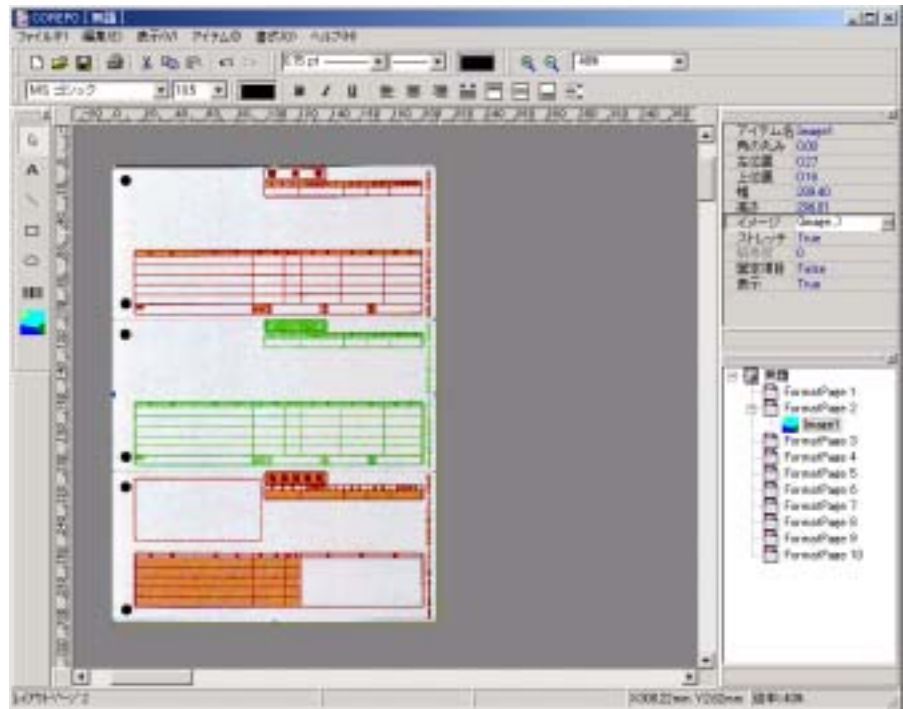


イメージアイテムのイメージプロパティの[...]ボタンをクリックして取り込んだイメージをアイテムに読み込みます。

(注) Windows9X/Me では、あまり大きなビットマップは扱えませんので、読み込めない場合は、イメージの解像度を落としてください。

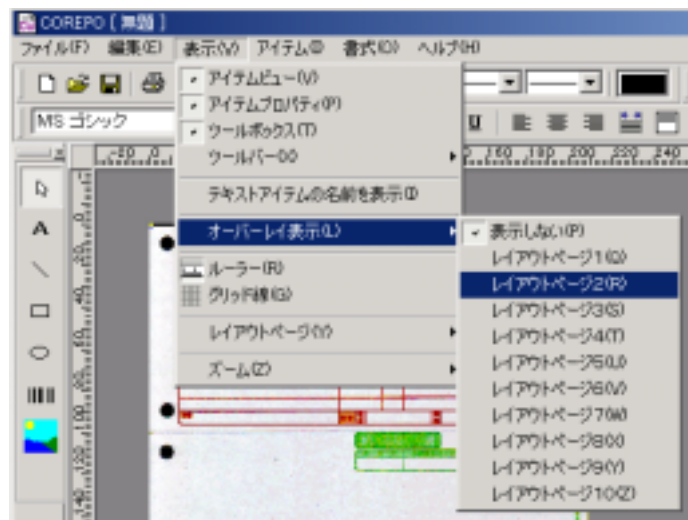


貼り付けたイメージをマウス操作でレポート（用紙）一杯に広げます。



4. オーバーレイ表示(重ね合わせ)するページの選択

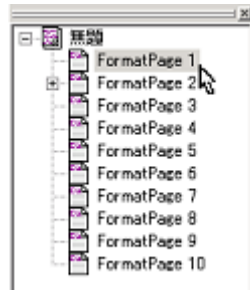
[表示]メニュー・[オーバーレイ表示(L)]・[レイアウトページ2]を選びます。



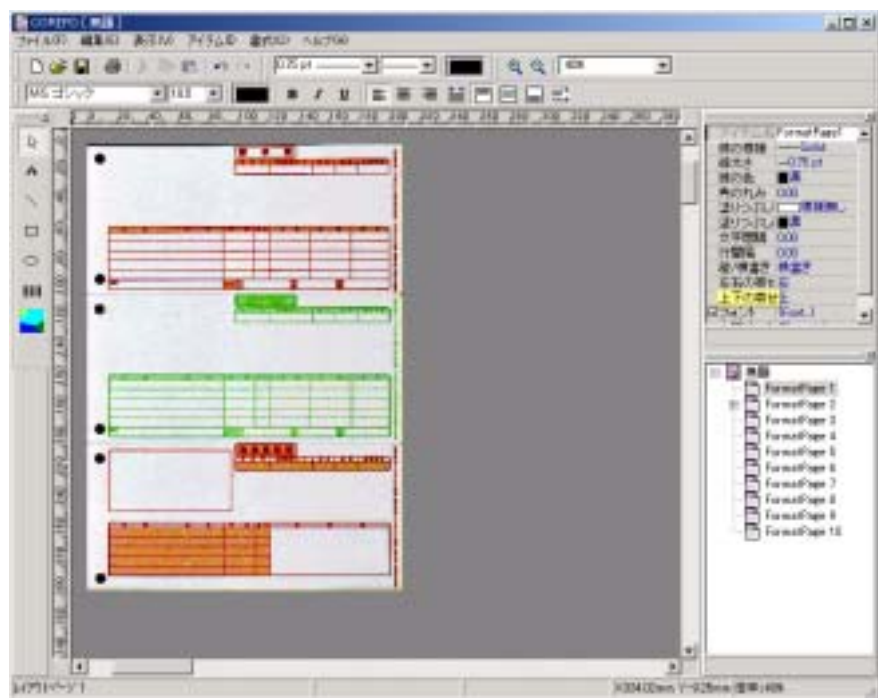
以上でオーバーレイ表示する準備が完了しました。

5. オーバーレイ表示を使ってトレースする

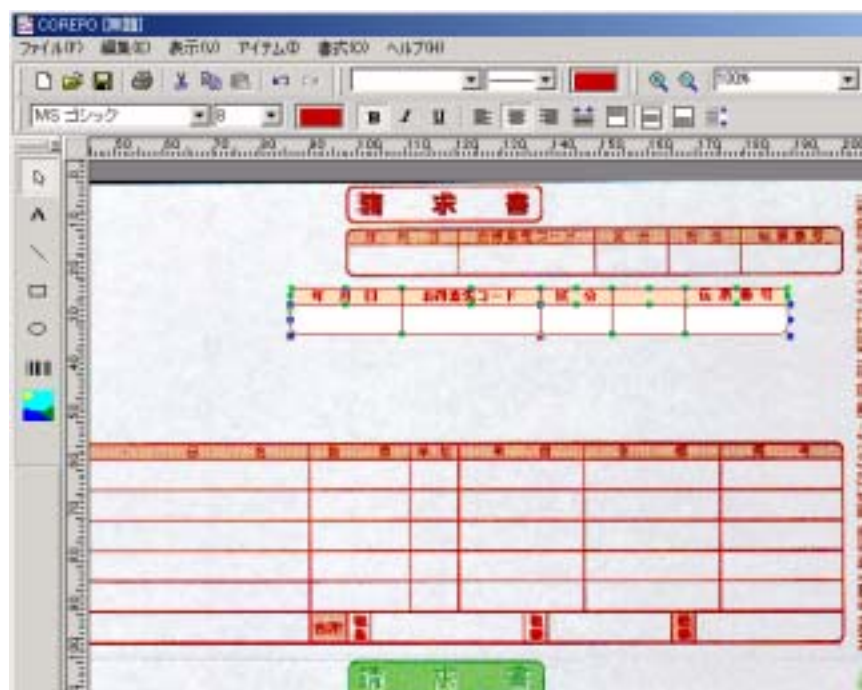
帳票レイアウトを作成するレイアウトページを決めて、そのページを選択します。（ここでは、レイアウトページ1に帳票レイアウトを作成します。）
アイテムビュー・ボックスのレイアウトページ1（FormatPage1）をクリックします。



レイアウトページ1のレポートが表示されているはずですが、レイアウトページ2で読み込んだ画像が表示されているはずですが。この画像は重ね合わせて表示されているだけですので、このページから編集することはできません。



イメージ画像を元に（下敷きにして）、必要なアイテムを配置しながら、レポートを作り上げていきます。



索引

あ

アイテム, 27
アイテムの位置やサイズを変える, 44
アイテムの位置を変える, 44
アイテムの切り取り・コピー・貼り付け, 45
アイテムのサイズを変える, 44
アイテムの挿入・サイズ変更・移動で方向を限定する, 44
アイテムのロック, 15
アイテムビュー, 15
アイテムビューボックス, 25
アイテムプロパティ, 15
アイテムプロパティボックス, 25
アイテム名, 62

い

位置合わせ, 15, 60
イメージ, 17
イメージアイテム, 35
イメージの角の丸み, 54
イメージの読み込み, 53
印刷, 13
印刷の向き, 41
イントロダクション, 10

う

上書き保存, 12, 38

え

円(Ellipse), 17
円(Ellipse)アイテム, 32

お

オーバーレイ表示を使ってトレースする, 66

き

既存レポートを開く, 37
給紙方法, 41
切り取り, 14, 45

く

グリッド線, 16, 64
グリッド線の表示, 65
グリッドに合わせる, 14, 65
グリッドの間隔, 65
グリッドの設定, 18
グループ化, 17, 59
グループの解除, 17
グループを解除する, 64

こ

ごあいさつ, 6
固定項目プロパティ, 65
コピー, 14, 45
コメント, 42
コレポ デザイナーの使い方, 36
COREPO デザイナーのヘルプ, 19

さ

最近編集したファイル, 12
サイズ合わせ, 15, 61
サポート, 7

し

システムのデフォルト・プリンタを使用する場合, 39
終了, 13
新規作成, 12

す

垂直方向の位置合わせ, 60
水平方向の位置合わせ, 60
ズーム, 16
ズームツールバー, 20, 22
スクロールバ, 24
ステータスバー, 25
全て選択, 14

せ

線(Line), 17
線(Line)アイテム, 30
線・角・塗りつぶし, 18
線ツールバー, 20, 21
線の太さや模様を設定する, 49
前面に移動, 14
線や枠の設定, 49

た

タイトル, 42
高さを合わせる, 61

ち

チェックデジットを設定する, 56

つ

ツールバー, 16, 20
ツールボックス, 15, 23

て

テキスト, 17
テキストアイテム, 28
テキストの編集, 46
デザイナーのウィンドウ, 10

と

動作環境, 8
特徴, 9

閉じる, 12

な

長さの単位, 41
名前の後ろにつける番号の桁数, 63
名前を付けて保存, 12, 38

ぬ

枠内の塗りつぶしを設定する, 52

は

バーコードアイテムアイテム, 33
バーコードアイテムの設定, 54
バーコード化する数字又は、文字列を設定する, 55
バーコードの種類を選ぶ, 54
バーコードの表示向きを設定する, 57
バージョン情報, 19
バーの色／背景の色を設定する, 56
背面に移動, 14
パスワード, 42
幅を合わせる, 61
貼り付け, 14, 45

ひ

ヒューマンリーダブル文字のフォント・サイズを設定する, 57
標準ツールバー, 20, 21
開く, 12

ふ

フォントツールバー, 20, 22
フォントを設定する, 46
複数のアイテムを選択する, 58
複製, 14
複製アイテムの間隔, 62
複製数, 62
複製する, 62
複製するアイテム名, 62
プリンタ設定, 13, 39

プリンタを選んで使用する場合, 39
プロパティ, 13

へ

ページ設定, 12, 40

ほ

細いバー（ナローバー）と太いバー（ワイドバー）の比率を設定する, 55

め

メニューバー, 11
メニューバー・アイテム, 17
メニューバー・書式, 18
メニューバー・表示, 15
メニューバー・ファイル, 12
メニューバー・ヘルプ, 19
メニューバー・編集, 14

も

文字の間隔・行の間隔を設定する, 48
文字の縦書き／横書きを設定する, 47
文字の寄せ・行の寄せを設定する, 48
文字列を入力する, 46
元に戻す, 14

や

やり直し, 14

よ

用紙サイズ・直接、長さで指定する場合, 40
用紙サイズ・プリンタがザポートする用紙を選ぶ場合, 40
余白, 41

る

ルーラー, 16, 24

れ

レイアウトページ, 16
レポート・エディットボックス, 24
レポートデザインウィンドウ, 24
レポートにアイテムを挿入, 43
レポートの作成, 36
レポートのプロパティ設定, 42
レポートを保存する, 38

わ

枠(Box), 17
枠(Box)アイテム, 31
枠の角の丸みを設定する, 51

帳票作成/印刷支援ツール

COREPO

レポート デザイナ ユーザーズ ガイド

2003年 3月14日 初版発行

2004年 9月23日 第5版発行

Copyright(C)2003 有限会社コムウェア
All rights reserved.

発行 **有限会社コムウェア**

〒373-0801 太田市台之郷町 601-2

TEL. 0276-48-0811 Fax.0276-48-0815